

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会
検討結果報告書

平成 28 年 2 月

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会

目 次

はじめに	1
1 西東京市立ひばりが丘中学校の建替えについて	2
(1) 西東京市の基本的な考え方	2
(2) ひばりが丘中学校建替案について	3
(3) 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会 における検討等	5
2 西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会における平成 26 年度の検討について	6
・平成 26 年度の検討の概要	6
3 (仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案) について	7
・基本プラン (案) の検討経過	7
4 (仮称) 第 10 中学校建替基本設計 (案) について	9
(1) 基本設計 (案) の検討経過	9
(2) (仮称) 第 10 中学校建替基本設計 (案)	11
(3) 基本設計 (案) の検討資料	16
むすびに	21

資 料 編

・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会平成 26 年度 検討状況取りまとめ	資料 1
・(仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案)	資料 2
・「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」調査結果報告書	資料 3
・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会設置要綱	資料 4
・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会委員名簿	資料 5
・検討経過	資料 6

はじめに

現在、西東京市は、小学校 18 校と中学校 9 校、計 27 校の市立小・中学校を設置しているが、その多くが昭和 40 年代を中心に建設されており、今後、次々と校舎及び体育館が更新時期を迎えることとなっている。

中でも、ひばりが丘中学校は、昭和 35 年に建設され、施設の老朽化が進んでいる。

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会（以下「ひばりが丘中学校建替協議会」という。）は、平成 26 年度に施設の建替えについての意見聴取のために設置され、学識経験者、関係校の保護者、地域住民、学校長等の構成員が 2 箇年をかけて建替校の将来像や基本プラン、基本設計等を検討してきたところである。

本報告書は、その検討結果を取りまとめて示したものである。本報告書を基に、今後の実施設計等の取組を進めていくことを求める。

現在のひばりが丘中学校



1 西東京市立ひばりが丘中学校の建替えについて

(1) 西東京市の基本的な考え方

ア 歴史的背景について

第二次ベビーブームに伴う児童・生徒の増加に対応するため、全国の市区町村では、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、多くの学校施設が建築されており、厳しい財政状況下、これらの施設を更新する時期を迎えている。

本市においても例外ではなく、市立小中学校 27 校の内、その多くは昭和 40 年代に建設されており、今後、次々と校舎や体育館の更新時期を迎えることになる。

施設老朽化に対するこれまでの本市の取組状況としては、合併特例債などの特定財源を有効活用することにより、大規模改造事業を行うこと等で対応してきたが、平成 22 年度以降については、通常の大規模改造事業に優先して、全中学校完全給食実施に向けての施設整備や全小中学校普通教室空調設備整備などの大規模な工事を実施している。

今後に向けては、次世代への責任を果たすべく、学校施設の環境整備として、適切な老朽化対策が求められている。

イ ひばりが丘中学校建替えの基本的な考え方について

学校施設の建替えの実施にあたっては、児童生徒数の推移や学校を取り巻く環境の変化などの課題の検討を進めるとともに、本市においては、基本的には建築年順として原則、建築後 60 年を迎える前に実施するよう配慮していくこととしている。

本市においては、平成 15 年度にけやき小学校、平成 19 年度に青嵐中学校の建替えを実施した。

けやき小学校及び青嵐中学校は、合併に伴う合併特例債等を有効活用しながら建設した学校施設である。今後、多くの学校施設が更新時期を迎えるにあたり、本市の財政状況に鑑みれば、けやき小学校や青嵐中学校を基準とする施設更新は難しいものと考えている。

今後の学校施設の建替え等については、平成 26 年 5 月に策定した「西東京市立学校施設建替・長寿命化及び大規模改造等事業計画」に基づき、当該校を取り巻く環境やその地域の実情を考慮しながら、国や東京都の動向を十分注視するとともに、本市の財政状況等を勘案しつつ計画的に進め、教育施設としての機能を過不足なく適切に発揮できる、費用対効果に最大限配慮した適正な規模の学校を原則として整備していきたいと考えている。

ひばりが丘中学校についても、この原則に基づいた学校整備を行っていきたい。

(2) ひばりが丘中学校建替案について

ひばりが丘中学校（昭和 35 年に建設）は、市立中学校で最も校舎の建築年次が古く、施設の老朽化が進んでいる。市では、その建替えについて、平成 23 年度に教育委員会及び市長部局の関係部課長による庁内横断的な組織である学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会（以下「庁内検討委員会」という。）を設置し、学校施設の適正規模・適正配置の観点から検討を行った。

同年度末に、庁内検討委員会が『学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会 平成 23 年度における検討結果 最終報告書』で結論付けた建替案は次のとおりである。

まず、都市再生機構が所有するひばりが丘団地の売却予定地の一部を購入して、平成 29 年度から 2 箇年かけて校舎を建設（便宜的に「（仮称）第 10 中学校」と呼ぶこととする。）する。次に、市立小学校で最も校舎の建築年次が古い中原小学校（昭和 34 年に建設）の現在地での建替えの際の仮設校舎として、平成 31 年度から 2 年間（仮称）第 10 中学校を暫定使用する。そして、中原小学校新校舎完成後、中原小学校は、暫定使用していた（仮称）第 10 中学校から元の所在地（新校舎）に戻り、平成 33 年度からひばりが丘中学校が（仮称）第 10 中学校に移転し、現在地にあるひばりが丘中学校の校舎は、移転後に取り壊すとともに、跡地の活用・処分を検討する、というものである。

この案は、中原小学校の仮設校舎の建築を省略することで、従前の校庭が確保されるなど、中原小学校の児童が従来通りの環境で学習を続けること、仮設校舎の建設経費を削減することができ、また、ひばりが丘中学校及び田無第二中学校の近接の問題を解消すること等もできる。

図 （仮称）第 10 中学校建設予定地及び現在のひばりが丘中学校・田無第二中学校通学区域

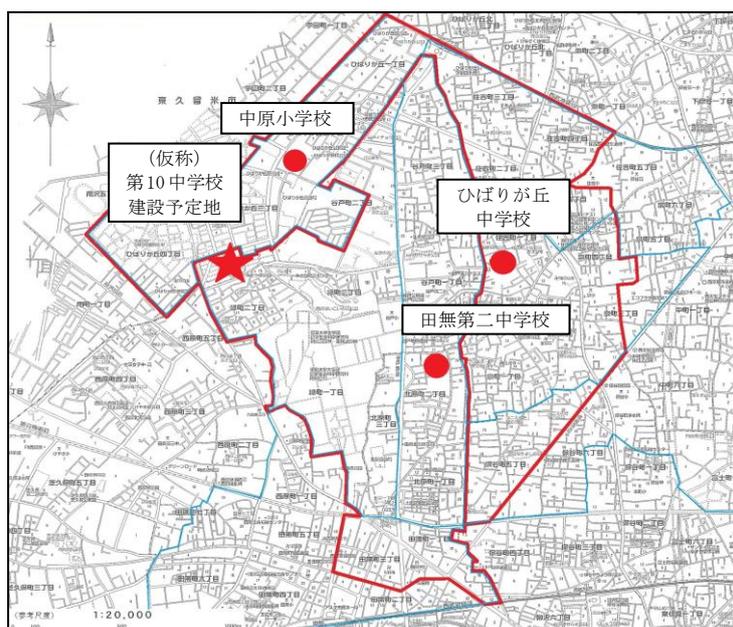
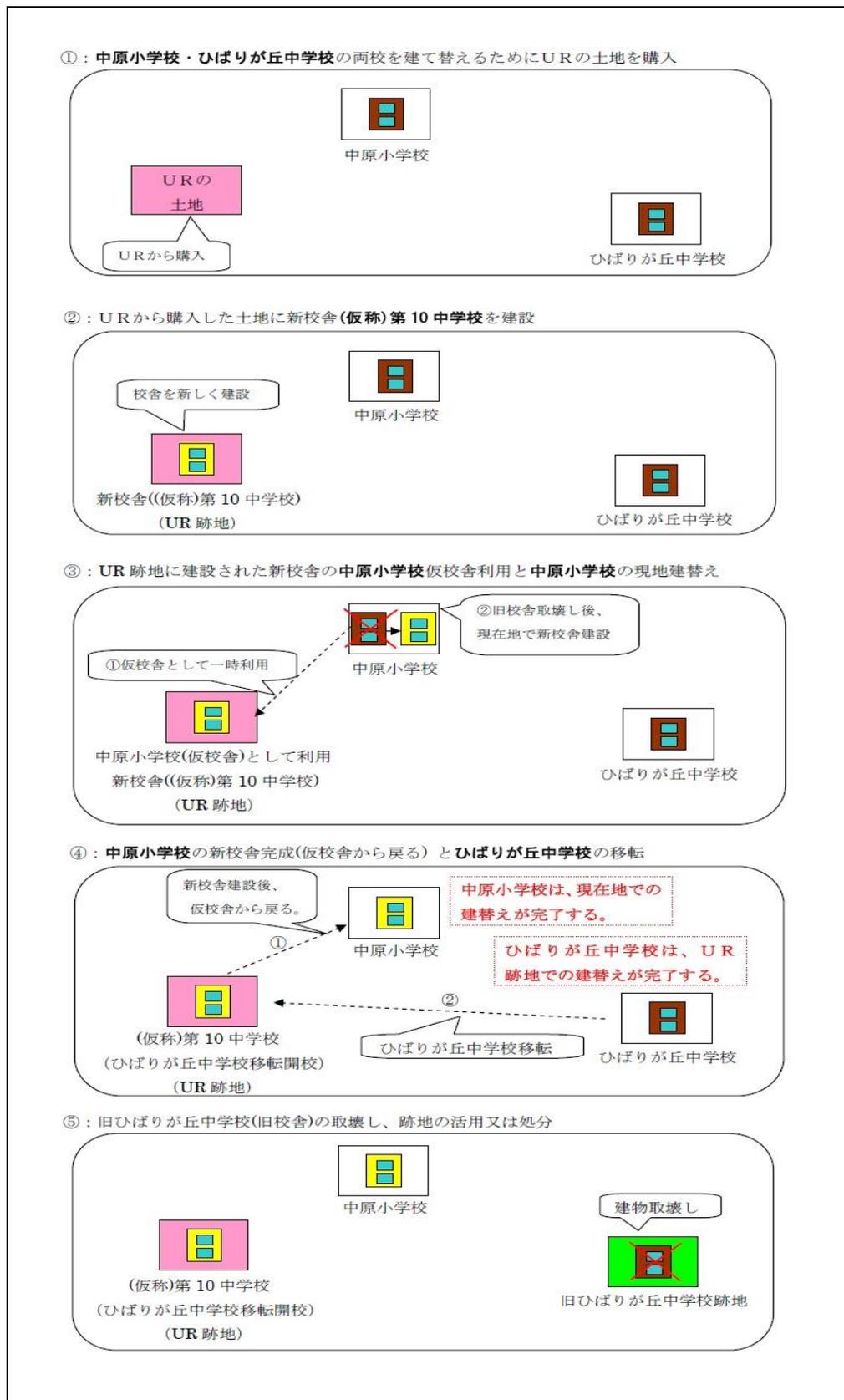


図 中原小学校及びひばりが丘中学校の建替案の内容



(3) 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会
における検討等

平成 24 年度から平成 25 年度まで、児童・生徒の保護者、学校運営連絡協議会委員、学校安全連絡会委員、民生・児童委員、青少年育成会の会員、保育園・幼稚園に通う園児の保護者、学校長等で構成される西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（以下「建替準備検討協議会」という。）が設置され、平成 23 年度に市で結論付けられた建替案に関する課題の整理及び検討を行い、教育長へ『西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会検討結果報告書』を提出した。

建替準備検討協議会が整理及び検討した主な課題は、中学校施設を小学生が利用する際の施設面への配慮、中学校通学区域の検討、通学区域の変更に伴う地域との関係について、の 3 つである。そして、市で結論付けられた建替案についてのアンケートを実施し、良い計画であると回答した意見を多くいただいている。

また、その他に建替えに係る事項として、建替準備検討協議会からは、中原小学校及び（仮称）第 10 中学校の給食、ひばりが丘中学校移転後の跡地について等が課題として提起されるとともに、（仮称）第 10 中学校への特別支援学級設置等の要望がなされている。

詳細については、平成 25 年度末に作成された上述の『西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会検討結果報告書』を参照されたい。

なお、教育委員会では、平成 25 年 11 月に開催された西東京市教育委員会第 11 回定例会において、「中原小学校・ひばりが丘中学校の学校施設建替えに関する基本方針」を議決した。内容は次のとおりである。

◆中原小学校・ひばりが丘中学校の学校施設建替えに関する基本方針

1	中原小学校・ひばりが丘中学校の学校施設建替えについて、「学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成 23 年度における検討結果最終報告書」で示した独立行政法人都市再生機構が売却を予定しているひばりが丘団地の跡地の一部を活用して建替えを実施するという方向性に基づき、取組を進めることとする。
2	独立行政法人都市再生機構と用地取得の協議に入るように市長へ要請し、用地取得を目指す。
3	取組の推進に当たっては、両校の保護者、地域住民等の関係者に対し情報提供や丁寧な説明に努める。また、学校や庁内関係所管部署においても遺漏のないよう適切な対応を求めるとともに連携を図っていく。
4	事業取組のスケジュールは、1 の最終報告書に明記されているとおり両校の既存校舎の建築年から 60 年となる平成 31 年から平成 32 年頃を目途に事業完了を目指す。

2 西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会における平成 26 年度の検討について

・平成 26 年度の検討の概要

ひばりが丘中学校建替協議会は、学識経験者、児童・生徒の保護者、学校運営連絡協議会委員、民生・児童委員、青少年育成会の会員、地域住民、学校長をもって構成され、建替準備検討協議会において協議した事項を踏まえつつ、ひばりが丘中学校の建替えについて検討を進めた。

平成 26 年度のひばりが丘中学校建替協議会は、10 月から計 5 回開催した。学校運営方式等の建替えに係る基本的な考え方や、グループワークや学校視察などを通じて建替校の将来像について協議した。

学校運営方式については、平成 26 年 7 月に策定された文部科学省の『中学校施設整備指針』に、「特別教室型」の運営方式、「教科教室型」の運営方式の 2 つの学校運営方式が紹介されている。本協議会では、子どもの移動時間が短くて済むこと、ホームルームで日々を一緒に過ごしていくことによってクラスとしての団結性の向上や友達作りの機会を確保できること、教員が学校全体に目を配りやすくなること等の理由で「特別教室型」を（仮称）第 10 中学校の運営方式として望ましいと結論付けた。

- ・ **特別教室型の運営方式**…通常は普通教室において授業を受けるが、特別な装置等が必要な場合は特別教室において授業を受ける学校運営方式。
- ・ **教科教室型の運営方式**…教科毎に専用の教室があり、生徒が時間割に合わせて各教科の教室に移動して授業を受ける学校運営方式。

※『中学校施設整備指針』（平成 26 年 7 月文部科学省）より抜粋

また、建替校の将来像については、「環境を考慮した学校づくり」と「長く使える災害に強い学校づくり」というテーマで、ブレインストーミング等の手法を用いてグループワークを行うとともに、建替えに関する知見を得て、今後の検討に生かすための学校視察として杉並区立井草中学校（平成 22 年度～平成 24 年度に建替えを実施）を訪問し、杉並区教育委員会及び井草中学校長等の御協力をいただいて、校舎・特別教室・体育館等を見回り、意見交換を行った。

平成 26 年度末には、これまでのひばりが丘中学校建替協議会での検討状況を取りまとめたものとして、『西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会平成 26 年度検討状況取りまとめ』を作成している。



3 (仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案) について

・基本プラン (案) の検討経過

建替えの際の基本的な方向性となる学校づくりの基本理念及び配置計画・平面計画等を取りまとめて示した基本プラン (案) は、平成 27 年度に入ってから検討を始めた。

まず、学校づくりの基本理念及び配置計画の素案が提示され、グループディスカッションによって意見交換を行った。

配置計画は、校舎をそれぞれ北側配置、東側配置、北東側 (L 型) 配置とする 3 つの案が提示され、校庭が広く利用できることや周辺との関係性等の理由から校舎を東側配置とする配置計画を要望することとした。

その後、その配置計画を踏まえた平面計画案が提示された。校舎のボリュームや普通教室の配置を 4 層案、3 層北教室案、3 層南教室案というような 3 つの案として提示されたもので、それぞれの案に基づいて作成された模型を見つつ、検討を行った。その結果、落ち着いた教育環境となることや配置計画と同様に周辺との関係性等の理由から 3 層北教室案を要望することに決定した。

また、現在は“(仮称) 第 10 中学校”という便宜的な呼称である建替校の校名及び特別支援学級の取扱いについて検討した。

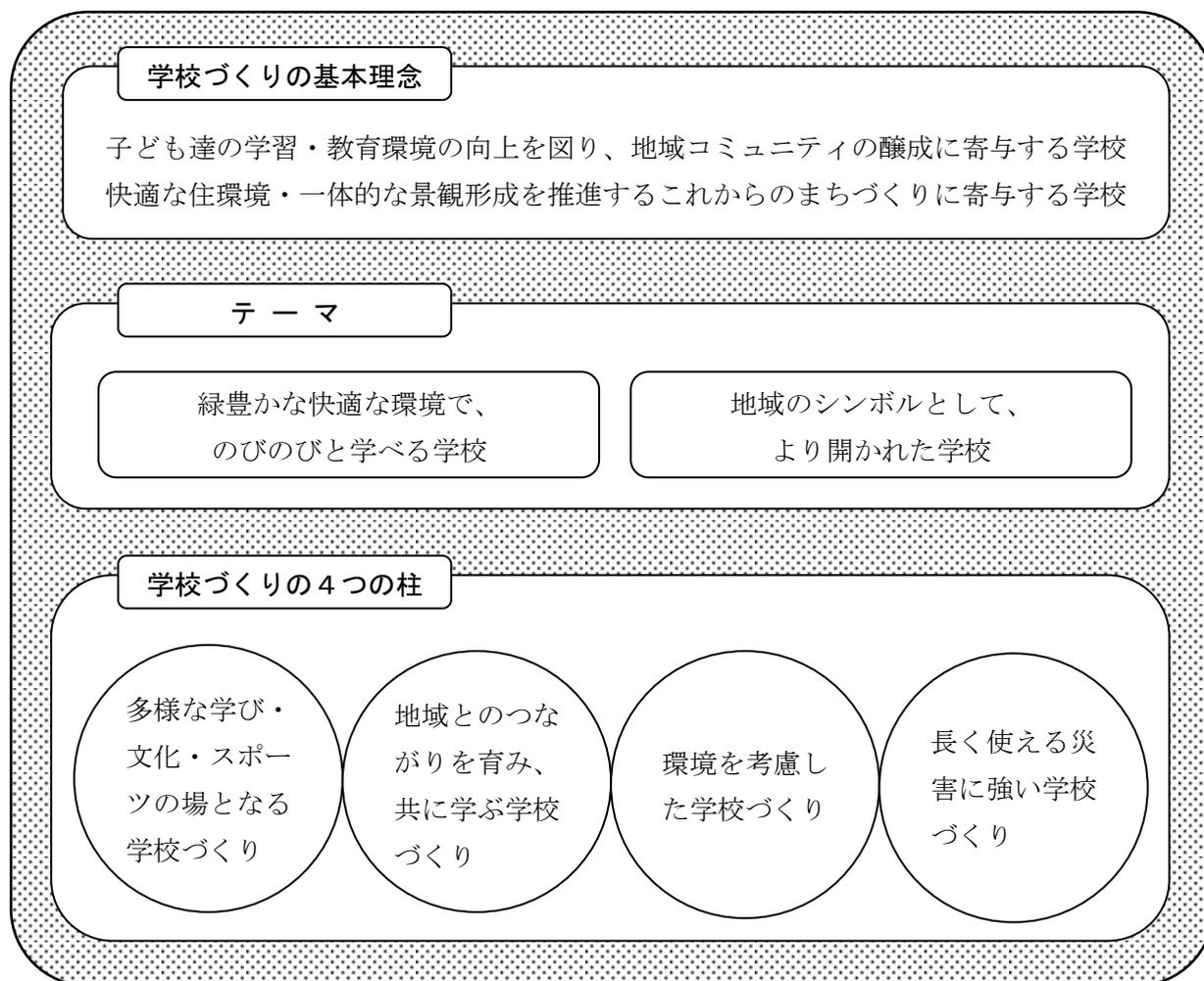
建替校の校名については、「建替校にはこれまでの学校の歴史と伝統を引き継いでほしい」、「地域の名前を生かした校名にするべきである」、「校名が変わるものと誤解してしまうので早く決めてほしい」等という意見が出たことから建替校の校名を“ひばりが丘中学校”とすることを要望した。特別支援学級については、建替準備検討協議会と同様に設置の要望をすることとした。

以上を踏まえて作成されたのが『(仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案)』である。

基本プラン (案) は、次ページのとおり学校づくりの基本理念を定めるとともに、それを目指すために、2 つのテーマと学校づくり 4 つの柱を掲げている。



図 (仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案) 学校づくりの基本理念等のイメージ



配置計画・平面計画は、ひばりが丘中学校建替協議会での協議を踏まえたものとなっている。緑豊かで、広く使いやすい校庭があること、北側に配置された普通教室がまぶしくなく、暑くなく、落ち着いた教育環境であること、学校の顔となるような多目的に利用できる広い整形な中庭が確保できること、3階建てで、周囲への圧迫感が少ないこと等が主な特徴である。

この『(仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案)』は、平成 27 年 7 月に開催された西東京市教育委員会第 7 回定例会において報告され、翌月にはその内容を踏襲した『(仮称) 第 10 中学校建替基本プラン』を教育委員会が策定した。

4 (仮称) 第 10 中学校建替基本設計 (案) について

(1) 基本設計 (案) の検討経過

平成 27 年 8 月に教育委員会の策定した基本プランを基に、(仮称) 第 10 中学校建替基本設計 (案) の検討を進めた。

基本設計 (案) の素案の作成に当たっては、諸室の構成、面積規模は各種指針及び、現況程度、かつ市内他校の標準的な諸室面積を基本とする中で、事前に教育現場の視点から学校長の委員及び学術的な知見から学識経験者の委員に調整していただいたものである。

また、事務局が 9 月にひばりが丘中学校の生徒、保護者、教職員を対象に実施した『ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート』の回答もこの素案に反映されている。

ひばりが丘中学校建替協議会では、基本設計 (案) の検討について、事務局から素案の説明をしていただいた後に、現在のひばりが丘中学校内のフィールドワーク及びグループディスカッションを実施した。

フィールドワークは、ひばりが丘中学校建替協議会の会長であるひばりが丘中学校長・副校長に案内していただきながら、「ひばり中の良いところ、残したいところ、改善したいところ」というテーマに基づく検討を行った。グループディスカッションは、「安全安心で快適なエコスクールってなんだろう」というテーマの下、環境面、防災面等の協議を行い、意見交換を行った。



フィールドワークの様子

また、基本プランにおいて掲げている 4 つの学校づくりの柱が基本設計 (案) にしっかりと反映させて作成しているとの承認をした。

ひばりが丘中学校建替協議会が決定した『(仮称) 第 10 中学校建替基本設計 (案)』(p. 11～p. 15) は、これらの経緯を踏まえて作成されたものである。

この基本設計 (案) は、検討資料 (p. 16～p. 20) にあるとおり、平面計画として学校を“まち”に例え、「生徒たちの昼間の家普通教室ゾーン」、「学びの専門店街特別教室ゾーン」、「生徒たちを見守る管理諸室ゾーン」、「のびのびと活動できる体育施設ゾーン」、「安心して利用できる特別支援学級ゾーン」の 5 つのゾーンに区分けし、配置をしているのが特徴である。

「生徒たちの昼間の家普通教室ゾーン」は、学年ごとのまとまりに配慮した配置で、北向きで安定した普通教室、中庭に面した開放的な多目的スペース等がある。

「学びの専門店街特別教室ゾーン」は、学習拠点となるメディアセンターとして、図書室及び PC 室を隣接して設置する等教科の特性や連携利用を考慮した配置である。

「生徒たちを見守る管理諸室ゾーン」は、校長室、職員室、事務室等の校務センターと保健室、相談室の心のケアゾーンに分散させている。なお、職員室は、普通教室と校庭への視認性に配慮した配置となっているとともに、保健室・相談室は、1階の昇降口よりアクセスしやすい場所に位置している。

「のびのびと活動できる体育施設ゾーン」は、校庭から直接アクセスできる位置にアリーナ、サブ運動スペースとなるギャラリーを設け、プールはプライバシーに配慮した配置となっている。

「安心して利用できる特別支援学級ゾーン」は、特別教室と連携しやすい1階の南側にまとまって配置し、校庭等へもアクセスしやすいところに位置している。

動線計画は、生徒動線、来客動線、地域開放動線の3つに分けて検討している。

生徒動線は、東門をメインアクセスとし、車両アクセスは北門に限定することで歩車分離を図ったものとしている。また、中庭に面して昇降口を設け、ゆとりあるアプローチ空間を形成するとともに、2階に中庭を中心とした回遊動線を設け、授業間の移動の効率化、他学年の普通教室ゾーンを通過せずに体育館や特別教室へのアクセスを可能にしている。

来客動線は、日中の来客出入り口は北門とし、付近に駐車場、駐輪場、来客用玄関を設け、玄関から階段やエレベーター、校長室、職員室を北西側にまとめ、初めて来校した方にも分かりやすい動線計画となっている。

地域開放動線は、東門からのアクセスとし、主事警備室で受付を行って利用するものとしている。なお、この動線は、体育施設ゾーン及び特別教室ゾーンの地域開放を想定しており、動線を通る非開放諸室については部屋毎の施錠管理として対応するものとする。

また、バリアフリーの観点では、車いす用駐車場を1台、エレベーターを1基設置するものとし、その他の点については、東京都が制定している「高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例（建築物バリアフリー条例）」等に基づいて計画するというものである。セキュリティの観点では、周囲の環境を踏まえて設定したフェンスラインや人の目及び機械の目で、安心を確保しつつ地域に開かれた学校を目指すとしている。

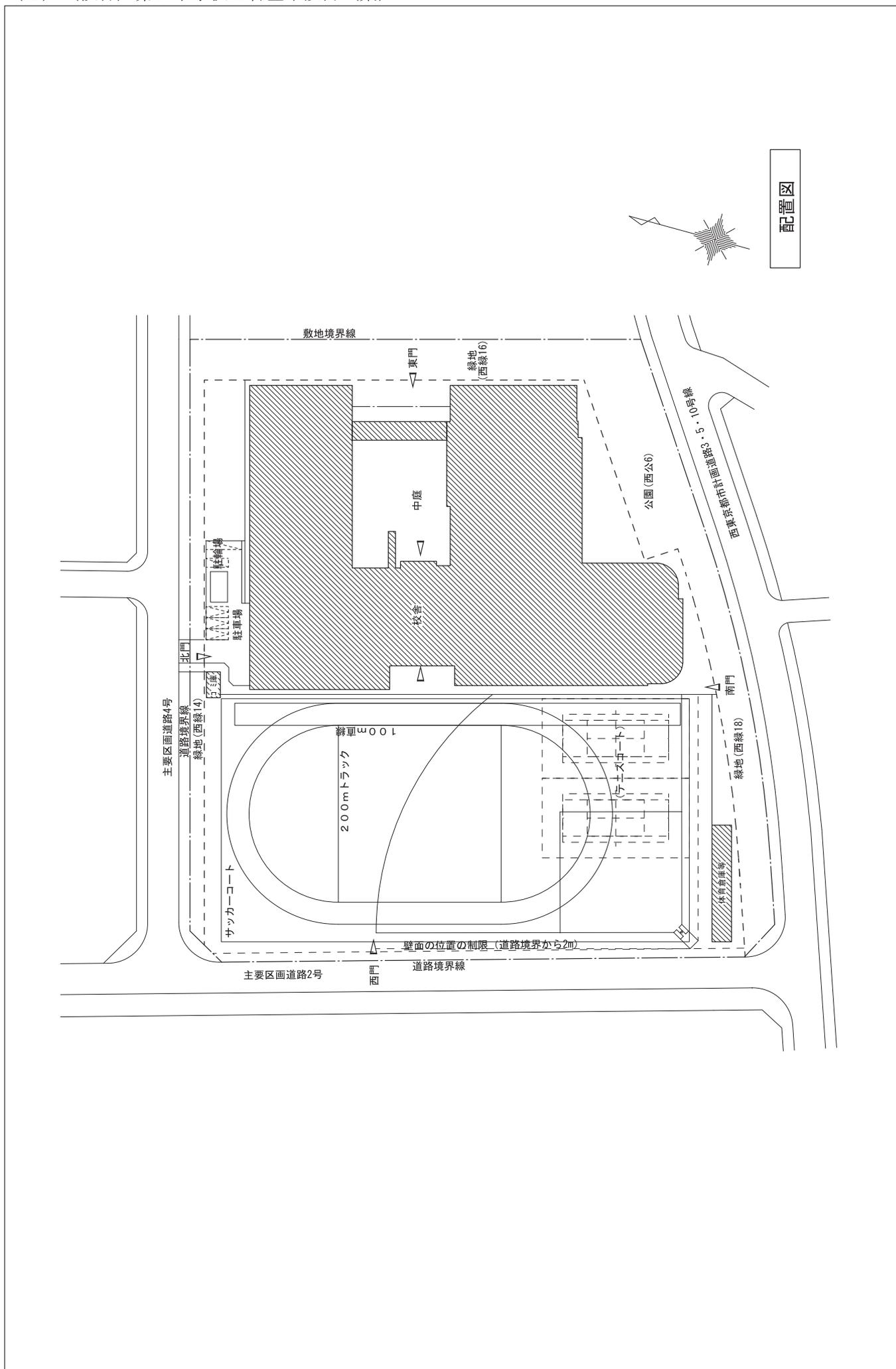
なお、（仮称）第10中学校は、従前のひばりが丘中学校建替案にあるとおり、中原小学校が現在地での建替えの際の仮設校舎としても使用する。中原小学校の暫定使用時の計画は、学級数の違い、体格差等を踏まえ、小学校から中学校への改修が極力が少なく済むように配慮し、無駄のない計画としている。

最後に、外観・立面計画は、「地域が育んできた、みどりの街並みと調和する学校」、「新しい学校の顔をつくる」、「地域の気候に適応した学校」というテーマとなっている。

建設地周囲の街並みと調和しつつ、現在のひばりが丘中学校校舎の色調を引き継ぐ外観にすること、経年により風合いの出てくる仕上げを要所に用い、生徒と地域の記憶に残るような学校にすること、採光や通風に配慮すること等を意図しているものである。

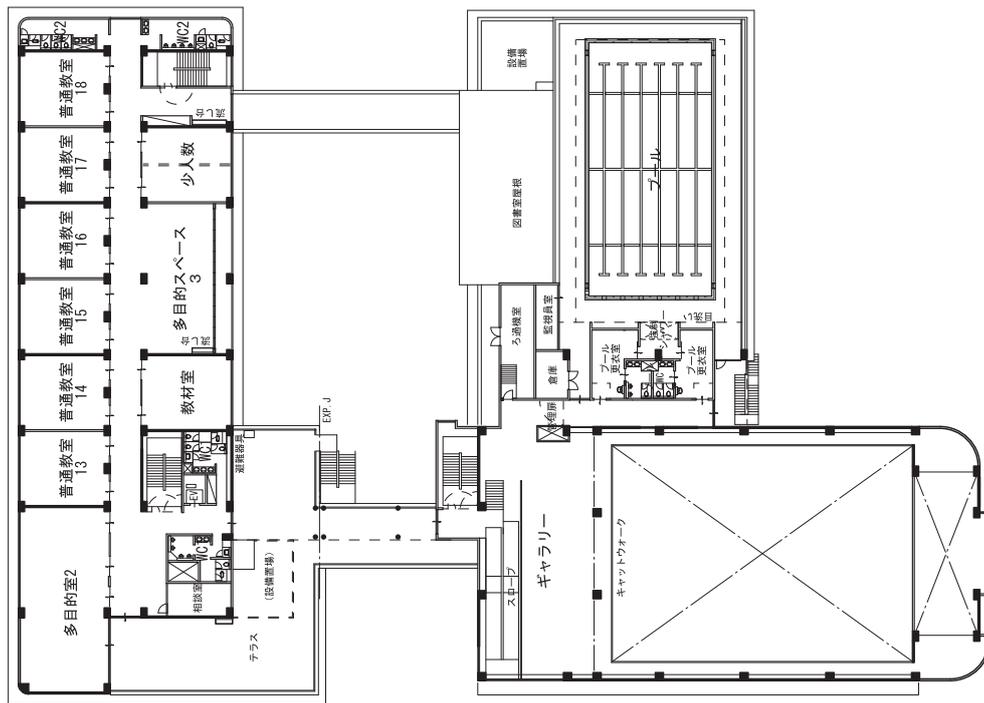
この『（仮称）第10中学校建替基本設計（案）』が、教育委員会で今後検討していく基本設計・実施設計等に生かされていくことを心から望むものである。

(2) (仮称) 第10中学校建替基本設計 (案)

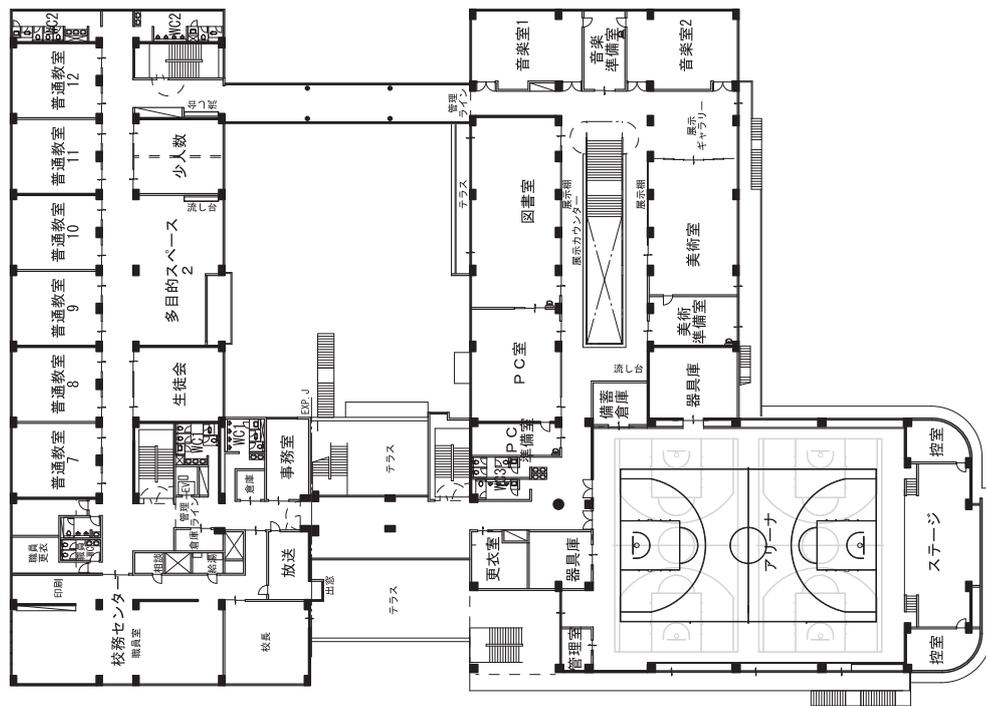




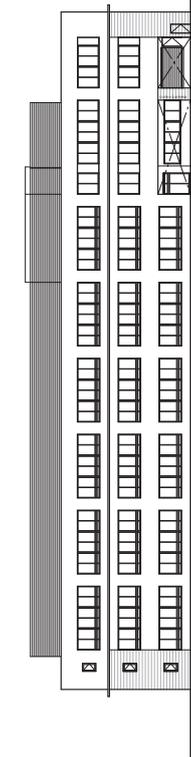
1階平面図



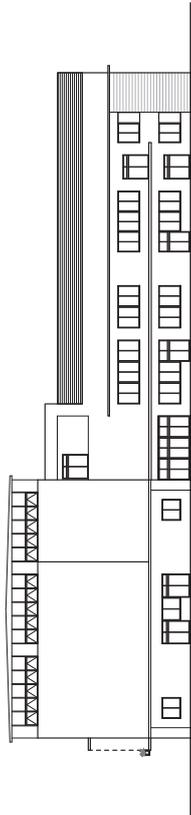
3階平面図



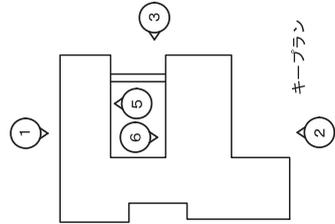
2階平面図



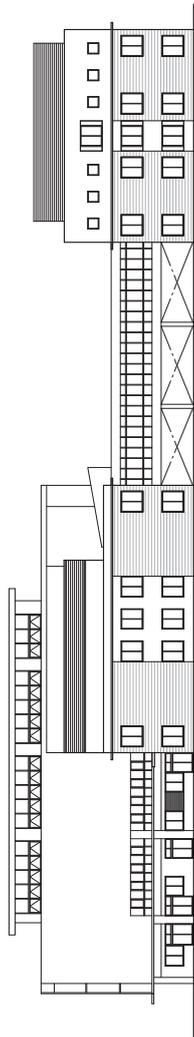
①北立面図



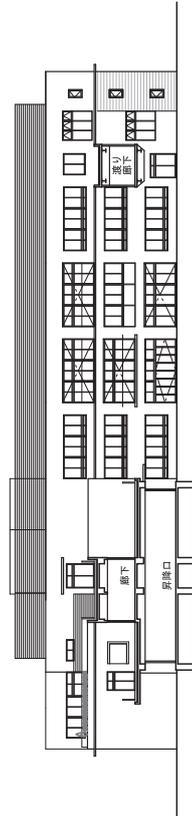
②南立面図



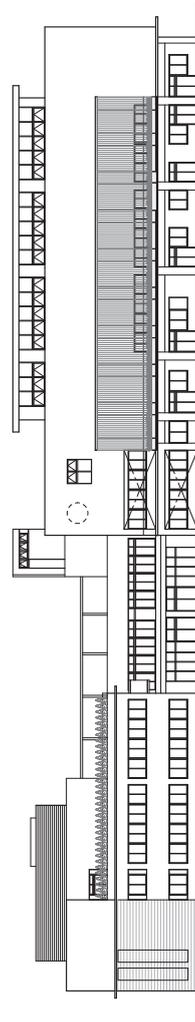
キープラン



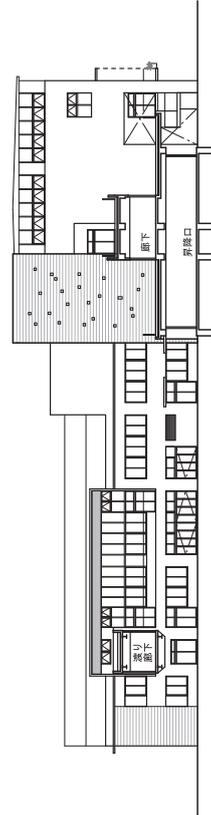
③東立面図



⑤中庭南立面図



④西立面図



⑥中庭北立面図

(3) 基本設計 (案) の検討資料

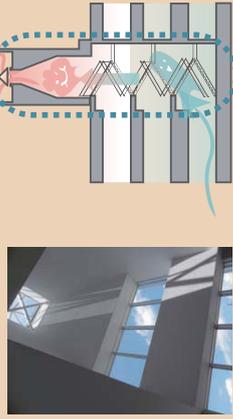
中学校時点の平面図



【平面計画】

生徒たちの風間の家 普通教室ゾーン

- ・学年毎のまとまりに配慮した配置。
- ・北向きで安定した環境の普通教室。
- ・中庭に面した開放的な多目的スペース。
- ・階段室を利用した採光・通風。



●階段室による採光・通風

学びの専門店街 特別教室ゾーン

- ・展示、発表等に活用できるホール・大階段。
- ・学習拠点となるメディアセンター (図書室・PC室)。
- ・教科の特性や連携利用を考慮した配置。



●イベント等にも便利なホール型 ●実習の拠点となるメディアセンター

生徒たちを見守る管理諸室ゾーン

- ・校務センターと心のケアゾーンに分散。
- ・普通教室と校庭への視認性に配慮した職員室配置。
- ・アクセスしやすい保健室・相談室。

のびのびと活動できる体育施設ゾーン

- ・校庭から直接アクセスできるアリーナ。
- ・サブ運動スペースとなるギャラリ。
- ・プライベートに配慮したプール。

安心して利用できる特別支援学級ゾーン

- ・まとまりがあり、特別教室と連携しやすい配置。
- ・接地性があり、校庭などへアクセスしやすい。

3階平面図

2階平面図

1階平面図

中学校時点の平面図



【動線計画】

生徒動線

- 東側緑地に面する出入口門（東）をメインアクセスとし、車両アクセスは北側の出入口門（北）に限定することで歩車分離を図る。
- 中庭に面して昇降口を設け、ゆとりあるアプローチ空間を形成。
- 2階に中庭を中心とした回遊動線を設け、授業間移動の効率化および他学年の普通教室ゾーンを通過せずに体育館や特別教室へのアクセスが可能な計画とする。

来客動線

- 日中の来客入り口は北側の出入口門（北）とし、付近に駐車場、駐輪場、来客用玄関を設ける。
- 来客玄関→階段・E V→職員室・校長室を北西側にまとめ、初めての来校者にも分かりやすい動線計画とする。

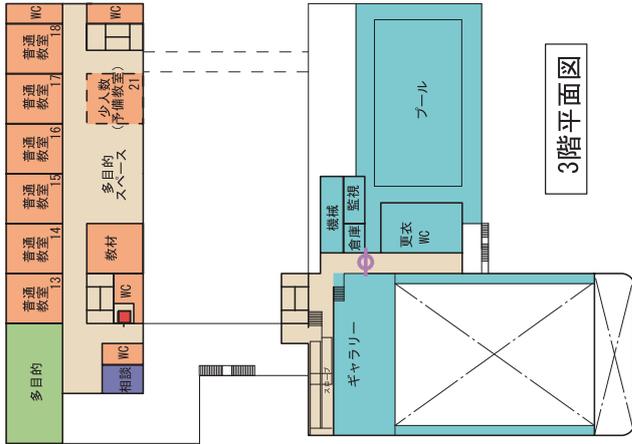
地域開放動線

- 東側緑地に面する出入口門（東）からのアクセスとし、主事警備室で受付を行い利用する。
 - 体育施設ゾーン及び特別教室ゾーンの地域開放を想定した管理区画とする。
- ※管理区画内の非開放諸室については室毎の施設管理とする。

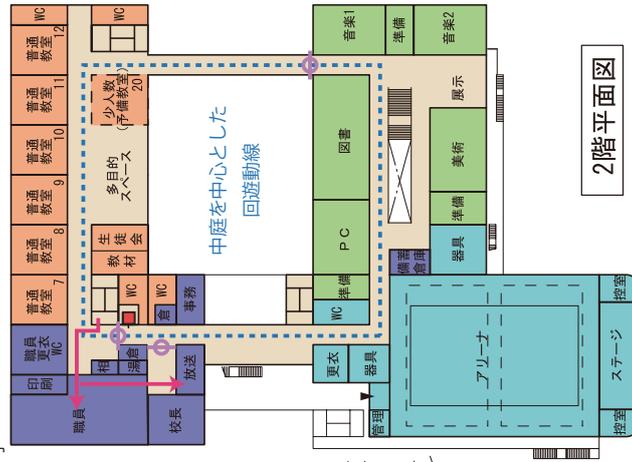
バリアフリー対応

- 車いす用駐車場を1台設置。
- エレベータを1基設置。
- その他、東京都建築物バリアフリー条例に基づいて計画する。

3階平面図



2階平面図



1階平面図



小学校時点の平面図



1階平面図

2階平面図

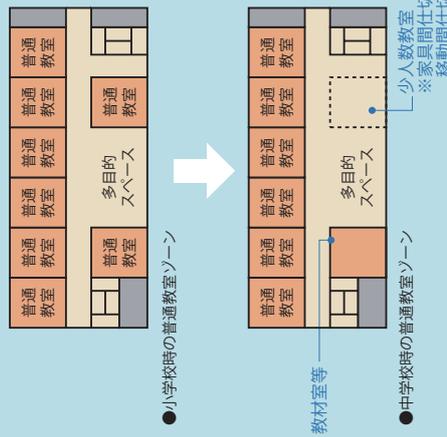
3階平面図

【小学校から中学校への改修】

極力改修が少なく済むように配慮し、無駄のない計画とする

クラス数の変化への対応

- ・小学校時 25 教室、中学校時 21 教室確保。
- ・中学校時の教材室・少人数教室等を小学校時は普通教室として利用。
- ・小学校時は、中学校時 1 階部分の多目的スペースの一部を昇降口として確保。



特別教室の違いへの対応

- ・変更の無い部屋：理科室、音楽室、図書室、PC室、多目的室等。
- ・部屋名のみ異なる部屋：図工室→美術室。
- ・小学校に無い中学校特別教室：技術室。
- 小学校時は特別活動室として利用。

体格差に対する対応

- ・階段蹴上など法的に小学校・中学校で異なる部分は小学校の基準 (不利側) とする。
- ・トイレ、流し等の水回りや理科室実験台の高さは中学校に合わせ、小学校利用時は床レベルや踏台等で対応する。
- ・プール深さについても中学校に合わせ、小学校利用時は水位での対応とする。

【セキュリティについて】

フェンスライン

- 敷地外周のフェンス設置を基本とし、視認性を確保した金属製フェンスとする。
- 敷地東側は建物と境界が近いいため、建物外壁をセキュリティラインとし東側緑地と一体的な設えとする。
- 南東側公園との境界は、サインやベンチ等と一体となつた設えとする。

人の目 (部屋からの視認性)

- 職員室、保健室、準備室等から校内各所への視認性を確保し、敷地内の死角をなくす

機械の目 (ITVカメラ)

- ニッチな場所や、主要な出入口に昼夜の抑止力として設置する。
- 校長室、職員室、事務室にて随時確認及び一定期間の録画できる仕様とする。



- 普通教室・生活語室
- 特別支援学級
- 特別教室
- 体育施設
- 管理諸室等

- 植栽
- フェンスライン
- 人の目 (部屋からの視認性)
- 機械の目 (ITVカメラ)

・ 3 層部：現ひばりが丘中学校校舎にならい明るい色調

・ 安定採光を十分確保する大きな開口部

・ 低層部：緑と調和する落ち着いた色調

・ 中庭に顔を向けた図書室の開口部とバルコニー

・ 経年により風格をつくる仕上げ

・ 採光と通風を促す棟屋状の階段室

・ 経年により風格をつくる仕上げ

・ 学校の中心に屋内外の見られる関係をつくる、共用部の開口部とバルコニー

・ 庇やバルコニー等による日射抑制

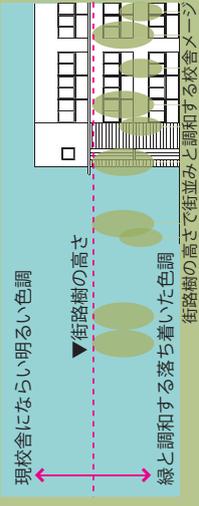
・ 角を R 形状に隅切りし圧迫感を低減したアリーナ



【外観・立面計画】

地域が育んできた、みどりの街並みと調和する学校

- ・ ボリュームを 2 階の高さで切り替え、校舎全体の統一感をつくるとともに、街路樹の高さに近い街並みと調和する低層の外観とする。
- ・ 低層部は緑と調和する落ち着いた色調の色彩計画とする。
- ・ 3 層部は現ひばりが丘中学校校舎にならい明るい色調の色彩計画とする。
- ・ アリーナは角を R 形状に隅切りすることで圧迫感を低減した計画とする。



新しい学校の顔をつくる

- ・ 経年により風合いの出でくる仕上げを要所に用い、生徒と地域の記憶に残る、新しい学校の風格づくりの仕掛けとする。
- ・ 中庭に面して共用部や図書室の開口部・バルコニーを設け、学校の中心に屋内外の見られる関係をつくる。



経年変化する仕上げイメージ例

地域の気候に適応した学校

- ・ 北側普通教室は安定採光を十分確保する開口部を設ける。
- ・ 南面には庇やバルコニー等による日射の抑制を行う。
- ・ 階段室を採光と通風を促す棟屋とする。



日射遮蔽イメージ例

ひばりが丘中学校建替協議会での協議・検討は、2箇年かけて計11回の会議を開催してきた。

いずれの会議においても、ひばりが丘中学校の建替えに際し、その教育環境の向上に最大限寄与することを目的として、それぞれの委員の視点及び立場から考え、意見を述べたということを真摯に受け止めていただきたい。また、給食室の設置については、西東京市立学校給食運営審議会での意見を参考にし、検討していただきたい。

なお、来年度以降、教育委員会では、ひばりが丘中学校の移転に伴う中学校の通学区域の見直しを行うとのことだが、周辺の開発等の情報収集を適宜行い、施設の規模と生徒数の関係を注視しながら長期的なビジョンで決定していただきたい。また、決定に当たっては、保護者や学校長等の関係者の意見を丁寧に聴取し、決定後は丁寧な周知を求めるものである。

そして、本報告書がひばりが丘中学校の建替えに十分に反映されることを望むとともに、新しい学校・家庭・地域・行政が連携し、次代を担う子どもたちのためにふさわしい学校、地域にとって希望に満ちた学校となっていくことを願っている。

資 料 編

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会

平成 26 年度 検討状況取りまとめ

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会は、学識経験者、関係校の保護者、地域の関係者、学校長等により構成され、平成 24 年度・25 年度に西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会において協議した事項も踏まえ、平成 26 年度にひばりが丘中学校の建替えについて検討を行ってきた。

本資料は、建替校の将来像をメインテーマとして検討を進めてきた協議会の平成 26 年度の検討状況について、要点をまとめたものである。

目次

1	学校施設の概要等についての検討	1
(1)	学校運営方式	1
(2)	配置計画パターン	1
2	建替校の将来像についての検討	2
(1)	西東京市の学校建設等に係る基本的な考え方	2
(2)	学校視察	7
3	その他	11
	検討経過（平成 26 年度）	12

1 学校施設の概要等についての検討

(1) 学校運営方式

平成 26 年 7 月に策定された文部科学省の『中学校施設整備指針』には、次の 2 つの学校運営方式が紹介されている。

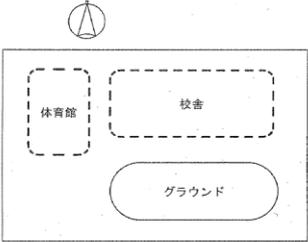
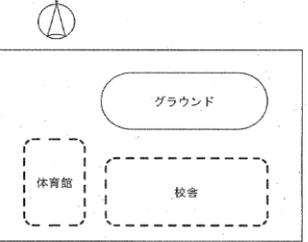
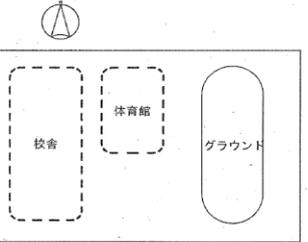
- ・ **特別教室型の運営方式**……通常は普通教室において授業を受けるが、特別な装置等が必要な場合は特別教室において授業を受ける学校運営方式。
- ・ **教科教室型の運営方式**……教科毎に専用の教室があり、生徒が時間割に合わせて各教科の教室に移動して授業を受ける学校運営方式。

※『中学校施設整備指針』（平成 26 年 7 月文部科学省）より抜粋

協議会において、これら 2 つの学校運営方式について比較検討を行い、子どもの移動時間が短くて済むこと、ホームルームで日々を一緒に過ごしていくことによってクラスとしての団結性の向上や友達作りの機会を確保できること、教員が学校全体に目を配りやすくなること等の意見があり、(仮称) 第 10 中学校には特別教室型の運営方式を採用することが望ましいという結論を得た。

(2) 配置計画パターン

校舎と体育館、グラウンド等の配置パターンについては、次の 3 パターンを検討した。こちらについては、周りの環境等の諸条件を含め、引き続き検討課題となっている。

A 校舎北側配置	B 校舎南側配置	C 校舎西側配置
		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全棟を敷地北側に配置したことにより、グラウンドへの日照確保が容易になる。 ・ 敷地北側に建物が位置するため、周辺への日影の影響は大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全棟を敷地南側に配置したことにより、グラウンドへの日照時間が短くなる。 ・ 敷地南側に配置したことにより、北側隣地へ与える影響は軽減される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドへの日照確保は比較的容易。 ・ 校舎の一部が敷地北側に面しており、日影及び北側斜線への配慮が必要となる。 ・ 校舎に西日対策を施す必要がある。

2 建替校の将来像についての検討

(1) 西東京市の学校建設等に係る基本的な考え方

建替えについての基本的な考え方は、平成 26 年度からスタートした『西東京市第二次基本構想・基本計画』及び『西東京市教育計画（平成 26 年度～平成 30 年度）』に基づき策定された『西東京市立学校施設建替・長寿命化及び大規模改造等事業計画（平成 26～28 年度）』に示されており、（仮称）第 10 中学校の検討の前提条件は以下のとおりである。

1 学校の規模	今後の学校施設の建替え等に当たっては、当該校を取り巻く環境や、地域の実情を勘案し、児童・生徒数の将来推計を考慮するとともに、教育施設として適切な機能を発揮できる規模を検討する。
2 面積等	<p>①普通教室の面積 公立学校施設費国庫負担金に関する関係法令等の運用細目により示されている補助上限面積を考慮するとともに、市内中学校の教室平均面積（約 65 m²）を参考に検討する。</p> <p>②特別教室の面積 特別教室の面積は、現在のひばりが丘中学校の面積（約 100 m²）を参考に検討する。また、（仮称）第 10 中学校を中原小学校として使用する間については、特別教室を普通教室として使用することを考慮して、検討を進める。</p> <p>③共用部分面積 廊下や階段等の共用部分は、市内小中学校の状況を参考にして検討を進める。</p> <p>④校庭面積 校庭面積は、小中学校設置基準及び市内中学校の状況を参考にして検討する。</p> <p>⑤児童・生徒数、クラス数の想定 学校教育法施行規則に定める学級数及び通学区域の児童・生徒数の将来推計による学級数に基づき検討を進める。</p>
3 その他	<p>○中原小学校としての使用 今回の建設スケジュールでは平成 31 年度から 32 年度まで、中原小学校として使用することとしているため、改修に要するコストについても考慮した上で、一定程度、児童にも対応できる施設内容とする。</p>

また、この地域の特徴としては都市計画において、緑の充実が求められており、これらを踏まえ、協議会では「環境を考慮した学校づくり」と「長く使える災害に強い学校づくり」という二つのテーマについて建替校の将来像を検討した。

検討に際しては、①委員が2つのグループに分かれ、話し合いを進めるワークショップを実施したり、②委員全員が自由に意見を述べ、意識を共有することを目的に、ワークシートを用いて意見を聴取し、協議・検討を行った。建替校の将来像に関する主な意見は以下のとおりである。

<校舎・校庭について>

- 教室の型は密閉できる空間（普通教室）と開放空間の両方があると良い。交流授業では、空間に余裕があった方が良いので、教室サイズも可能な限り大きくして欲しい。
- 教室や廊下に余裕を持たせ、フリースペースがあると生徒数の増減に対応できる。
- 子どもの体格の変化、授業形態の変化等を踏まえ、教室や廊下等の面積を従来よりも広くする。また、理科室などの作業を伴う特別教室は、実験台や作業台との間隔が狭い場合もあるので、改善するチャンスではないか。
- 特別教室は、教育のための活用だけでなく、地域住民のための教育施設開放（例えば、家庭科教室は料理教室、技術室はものづくり講座など）、そして避難者のための作業場面になることを考慮し、ガス、電気、石油などの整備をしておくことが大切と思われる。
- 中学生の部活動は精神衛生上や、問題行動を防ぐ意味でも大切であるため、校庭は一年中使えるような環境を整えたいものである。
- 屋上スペースを有効に活用してほしい（例：庭、花壇、プール等）。
- 屋上を活用して、緑のエコスペース、太陽光発電、プールなど配置できると良い。自然を生かした採光や換気があると、生きた環境教育が実践的に学べる。
- 体を動かせる環境について、校庭を作る際、芝生を居住地側、土壌をその反対側に位置することで、養生期間中も体を動かし子どもたちもストレスをためることもなく、また近隣にも土ぼこりが飛びにくい。
- 教師の机に雑然と教材や本が置かれている傾向が多く見られる。教員が作業しやすくするためには、個々の教師の戸棚を設置するか、教材管理などの名目でゆとりがあればその目的のための小部屋を設けることが大切。
- 校長は、自校の学校教育の経営をどうするか責任者であるため、校長室は会議室や応接室的要素を含めず、思考の場である必要がある。また、校庭が見える場でなくてはならない。
- 今後益々重要視される情報教育のための施設を、その時々に対応するだけでなく配線など基本的な部分は設計の段階で組み入れておくことが、電子化など後の予算の軽減になるのではないか。

- 光をうまく取り入れ、暑さ（寒さ、暗さ）への対策が可能ならば取り入れて欲しい。
- 木の香りがする校舎が良いのではないか。
- 変化への対応での可動式仕切りは利用する目的によって変化するので、とても良いと感じた。
- ユニバーサルデザインやバリアフリーの要素を取り入れる。
- 電気をできるだけ使わない構造の検討をする。

<緑化について>

- 緑化は大切だと考えるが、芝生化は世話が大変で特にグラウンドは使用出来ない時期が多いと聞いている。
- 緑の多い学校には憧れるが、芝生の運動場は反対。むしろ、児童・生徒の遊び場を奪うことになる。やるなら屋上に緑を。木が多いのも落ち葉の時期が大変。
- 緑化を考慮していることを大変うれしく感じたが、屋上までは予算が行き届かないと思うし、やりすぎかなと思った。
- 緑の多い地域に建つ中学校なので、大きなけやきの木などを配した木陰のできる学校を望みたい。
- 樹木を多くし、四季を感じられるような木々を植えてほしい。
- 屋上緑化、壁面緑化、庭園やビオトープの検討。
- スマートハウスや屋上緑化など、エコの視点も必要。あたたかみのある学校を体感できるデザインが良い。
- 今後の予想される気象変動に対応した、教育環境などを想定し、屋上の緑化など対策にどれほどの効果があるのか、また、維持管理の面なども検証し、世間の動向に惑わされない西東京市独自の施策を考えるべきではないか。
- 子どもたちに自然の大切さや美しさをただ考えるだけでなく、教えられるようなアプローチも大事である。

<災害時への備え>

- 学校は、子どもや地域の人にとって、教育施設だけでなく、これから予想される大地震などの災害に対して、一番身近であり、最も頼りにしている公共施設であることを基本計画におくことが大切と思われる。
- これから先なにが起こるかわからないので、非常の場合の安全な施設にしてもらいたい。
- 一般の方や非常時の出入りのしやすさ、動線も考慮すべきである。
- 住民は災害が起きたときに一番頼りにしているところはなんといっても身近な学校である。学校に多く集まる地域住民に対し、特に暑さ・寒さ対策、照明など体育館の冷暖房の設置が必要。
- 非常時にも使える自家発電の設備や、災害時に簡易便器を設置するだけでトイレとして

使用できるよう、校庭に配管の整備が必要ではないか。

○非常時の際はトイレが重要なことと考えられるため、十分に考えていく必要がある。

<地域との関係>

- 今までの学校のイメージに縛られがちだが、できれば、学校と周囲のフェンスを無くし（ボールの飛んでいく方向は残し）て生け垣程度の境とし、地域の人も学校の植栽を手入れするような誰もが気軽に散歩等で立ち寄れる庭を備え、ベンチからは体育の授業が見えるような開かれた学校が良いと思う。また、周囲はジョギングコースをつけ、誰もがいつでも体力維持に使えるように、また体をのぼせる遊具等も設置すると良いと思う。
- 安全対策の面からあまりオープンすぎない方が良い。
- 地域の人との連携をどのようにつくるか。災害時以外での施設利用と人的交流を考慮したコンセプトがほしいと思う。
- 学校が後からできるので、周囲の住民（コミュニティー）や環境に溶け込めるものになるようにする。

<全般的な考え方>

- 生徒にとって生活しやすい環境が第一であると思う。
- 環境や防災の観点から考えたが、根本は教育ではないでしょうか。
- 禁欲的な最低ラインのみを話し合うのではなく夢のあるプラスの部分、豊かさを育てる部分も教育には必要である。基礎・基本と同時に豊かさ・楽しさを施設に付加したい。
- 青嵐中、けやき小の2校について、この施設のここは良かったとか、このような施設がぜひ必要など言われたが実際にはあまり使われなかったなど、当時の管理職などから話を聞き、検証することが大切なことではないか。
- 他区や他市などの新設校の中には、特徴（話題性）を出したいがためにそのことが、学校にとって、その後の維持経費などの面で負担になっているといったケースもあると聞いている。

<建替事業に関する御意見>

- 地域住民に対する説明会の実施をしてほしい。
- 時間はあるようでないのが事実である。ご近所への周知などを先に進めた方がいいのではないか。
- 建設場所が決まっていないので、配置計画パターンを見ても想像することができなかった。
- 一般的な校舎の配置計画パターンを見せていただいたが、どの場所に建つのか、道路はどの位置につくのか分からない状態であったので、はっきり決まってから説明していただきたいと思う。

- 学校建設予定地を早く決め、校舎の向きも出来るだけ早めに決定をお願いしたい。
- 中原小、ひばり中の雨漏りがひどいので、1年でも2年でも早急に建替をした方が良いと思う。
- 少しでも実現に向けて（2年でも3年でも）建替計画を前倒ししてくださることを切望する。

<その他>

- 学校周辺環境について、商業施設などが学校周辺にできないよう配慮する。
- ひばり中では学年によってはランチルームで給食をとっているが、そういうスペースも大切にしたいし、自校式の給食で作るプロセスも見えたならば、色々な方のおかげでこの給食もあるという心を育むこともできると思う。
- あくまでも中学生が使用するのだから、仮住まいの小学生の事は考えの主流から外す。
- 将来の児童減少も踏まえて、他にも活用できるような建物作りを検討してはどうか。
- 基本的な安全が確保されていることと、どこまでバリアフリー、エコの観点を実現できるのか。その上で、特別支援の観点をどこまで加えることができるのか。



※第2回会議ワークショップの様子

(2) 学校視察

協議会では、杉並区立井草中学校の視察を実施した。

杉並区立井草中学校は、特別教室型として建設されており、普通教室、理科室、美術室、音楽室、図書室、多目的スペース、体育館、屋上、プール等を視察した上で、杉並区教育委員会との意見交換も実施した。

学校視察に関する意見等は以下のとおりである。

杉並区立井草中学校 施設概要	
所 在	杉並区上井草3丁目20番11号
建築面積	敷地面積：14,049.50 m ² 建築面積：5,070.21 m ² 延べ面積：10,439.51 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
工 期	平成22年6月22日から 平成24年7月31日まで

<建物全般>

- 井草中学校の改築のコンセプトが在校生の教育を第一優先にしている。在校生の教育を第一に考え、そのための校舎づくりをまず考えることが重要である。
- 子どもたちがゆったりと落ち着いて授業が受けられる環境だと感じた。物が外に出ていなくて、きちんと収納されており、広々としている印象を受けた。
- 建物はゆったりとつくられていて、勉強するにはとても良い環境だったと思う。
- 環境に配慮した、また災害に備えた学校になっていると感心した。
- 屋上の太陽光発電やLEDの利用、雨水利用、屋上の緑化。ペアガラスで断熱効果を高め、あらゆるところに今考えられる知恵が詰まっていて素晴らしい学校でした。
- 教室のある建物は木のぬくもりがあり、会議室のある建物はキリッと引き締まる雰囲気でもリハリがあり、良いと思った。
- 木のぬくもりが感じられ、生徒も落ち着いた環境の中での生活ができていないのかと感じた。また、自然エネルギー・省エネルギー化や雨水再利用など配慮されている。
- 体格の良くなった生徒に合わせて教室、音楽室、理科室、美術室なども広く、机や椅子、備品なども昔と違うと感じた。暖房も天井に納まり、照明も図書室など、おもしろいデザインだなと思った。
- 外からの光も十分で、とても快適な空間もあり、恵まれた環境で学ぶ生徒達がとてもうらやましいと思った。ただ、電気代やきれいな学校だったので清掃等にコストがかかっているのではと思えた。
- 素晴らしい学校であった。コンクリート剥き出しのところは別として、内部の木造が良い雰囲気を醸し出している。また、扉が大きく、ガラスも大きく、良いなと感じた。

<教育面から>

- ラウンジや特別教室の周辺には教科ごとのメディアスペースがあり、実験の結果や作品

- などのグループごとの討論の場などに活用でき、多様な能力が育成されるのではないか。
- 屋上に設置されている緑化などの環境教育に関する施設について、植物の栽培などいろいろ活用の方法があると思われる。
- 様々な場所において、教育を優先しつつ、できる限り取り入れていることが分かった。様々なエコロジーに関連する工夫が取り入れられている。この点は大変参考になる。
- 広いピロティやランチルーム、多目的スペースなどがあり、多様な学習活動が展開されているのではないかと思った。

<教室・廊下等>

- 教室や廊下、窓などが広く全体的にゆとりがあるという印象を受けた。
- 教室、会議室の窓は大きく、光が多く入り、明るく開放的に感じた。
- 教室、廊下が木造作りで、あたたかみがあって良いと思った。
- 教室は横長が良いと思った。
- 教室の壁と入口のドアが木材を使っていて、ドアの幅が広い。
- 教室の後ろには、一人一人部活の荷物も置けるほどのゆったりとしたロッカーがあり、教室のゴミ箱もきれいに収納されていて、このように整然とした環境で生徒たちは心落ち着かせて授業を受けることができているのではないかと思った。
- 黒板と電子黒板が一緒になっていると授業も楽しそうである。
- 壁の上部にフックが付けられていた。展示物をさげるのに良い。
- 廊下にテーブルとイスがありオープン的で良い。
- 廊下も広くて、丸テーブルとイスが設置される等いろいろなスペースに利用されている。
- 階段上にその階の案内があると、とても助かる。
- 壁に部屋の名前があるとデザイン的にも明るくわかりやすく良い。

<体育館・校庭・プール>

- 冷房はなく、送風のみであったが、ないよりは良いのではないか。
- 畳が常設であり、予算があればぜひ備えてほしい。
- 体育館の面積は広大である。井草中学校では利用されていないようだが、狭い敷地では体育館の屋上を利用することを考えたらどうだろうか。
- 成長する上で、中学生の時は体を動かすことが大切だと思うが、グラウンドが狭いのが気になった。
- ひばりが丘中学校は井草中学校より校庭を広くしてもらいたいと思った。
- 屋上プールは外部の目を気にしなくて良い（ただし、周囲にプールより高い建物が無いこと）。
- プール、体育館など施設、設備が充実している。

<図書室・音楽室>

- なかなか中学生になると本を読む回数が減ってくるので、防ぐために図書館を通路にするアイデアはとても良かったと思う。
- 図書室も印象的で、賑やかになるという難点があるようだが、読書習慣のない生徒も本を目にする機会が増えて良いと思った。
- 課題解決力を育成することが、小・中学校に強く求められている。コンピューター室と図書室が合体していて、学習時間の中で自由に行き来ができるのは調べ学習などの授業には大変効率が良い。ただ、図書室がもう少し広いと良いと思った。
- 図書室内にテーブルとイスが多数あると、本を読む機会も増えるのでは。
- 音楽室が素晴らしく印象的であった。合唱する場が設けられていて広々として明るい、理想の音楽室だと感じた。楽器が出しっぱなしになっていないのも良いと思った。

<その他施設・設備>

- 保健室と教育相談室が隣り合わせになっていて、養護教諭とカウンセラーとが互いに連携・協力でき、効率的に対応できるのではないかと。
- 校長室は、ソファセットがなく会議用椅子とテーブルのみであった。ソファセットの方が校長室には良いのでは。
- 校長室に水道・食器棚は必要ではないかと。
- 和式便所は各1箇所、男性用小便器あり。洋便器は壁取り付け型であり良い。
- 中庭の植木には土を見せずに竜のひげを植えてあった。夏の反射熱を防ぎ、土ぼこりも防ぐので、良い考えではないかと。
- 太陽エネルギー利用のパネルはいらない。高い割には、効率はどうか。

<防災面から>

- 防災用のトイレ10箇所をはじめ、いざという時に備えた点がとても良い。
- ランチルームが災害に備え細かく仕切りが出来るようになっていたのは良かったと思う。
- 災害救援施設に関しては、井草中学校の設計の段階では、東日本大震災前と思われる。その後、学校には災害時に対する国や都、住民の意識などが変化しているので、この施設を参考に検討が必要と思われる。
- 災害に備えた校舎ではあるが教育優先であり、災害対策について優先順位の中でできることをできる範囲で最大限行うということが分かった。
- 緊急時にどんなものが使えるかということで電気が重要になってくると思う。蓄電池等が必要ではないかと感じた。

<校舎建設に際して>

- 学校は、まず教育を考えて建物を建設していかなければならない。中学生にとってどう

いう校舎が良いのか考えなければならない。

- 中学校として建て替えられる校舎を先に小学生が使用することで、トイレの便座のサイズ・手洗いの高さ・廊下の手荷物等の意見が多かったが、あくまでも中学校の建替えだと再認識したい。
- 通常級と支援級が別棟になっていて良いと思ったが、配慮が必要だと思った。
- 取り入れたいと思ったのは、体育館のドア全体についていた内側の木製の格子引き戸、開放更衣室、デッキバルコニーの教室側には網を設置すること、クールヒートトレンチ、ナイトパージ、白射遮へい雨水の再利用、災害時に使用できるマンホールトイレ。壁の色が白く病院っぽく感じたが、特に内装は気に入った。たくさん良い点があったが、ただ、子どもたちが使いやすく安全で避難施設として地域の人達が利用できる中学校を。
- 校舎の構造物は固く冷たいものである。それを緩和するためには木質や布質を採用すると温かく柔らかくなり良い。
- 生徒の平常時の導線と非常時の導線、地域利用のための導線、災害時の導線等、考えられる限りの導線を考える必要がある。
- 地域交流と地域活用とを分けて考える。地域交流は生徒がいるときにどのように生徒と交流するかということである。地域活用は生徒がいないときにどのように施設として地域に開放し、活用してもらうかということである。
- 建物の形としては、今のひばりが丘中学校のようにワンフロアで広い方が、先生方の目が行き届いて良い気がする。
- 子どもが隠れるような死角をつくらない構造が良い。



※第5回会議学校視察（杉並区立井草中学校）の様子

3 その他

協議会での意見の一つとして、中原小学校の建替え時期の前倒しを求める意見を多くいただいた。この意見は、中原小学校の建替えは（仮称）第10中学校校舎の完成後に始まるが、中原小学校の校舎老朽化に伴う雨漏り、トイレ等の実態を踏まえると、少しでも早く、子どもたちが落ち着いて、教育活動に専念できる環境を整備してほしいというものである。

中原小学校の建替え時期の前倒しは、（仮称）第10中学校の建替え事業の前倒しを意味するが、スケジュールに配慮し、今後の取組みを進めてもらいたいという意見が述べられた。

検討経過（平成 26 年度）

会議	年月日	主な検討内容
第 1 回	平成 26 年 10 月 20 日	①委員依頼 ②検討状況等について ③今後の予定
第 2 回	平成 26 年 12 月 15 日	①建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方）
第 3 回	平成 27 年 1 月 16 日	①建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方） ②学校施設の概要等について
第 4 回	平成 27 年 1 月 26 日	①建替校の将来像について（学校視察）
第 5 回	平成 27 年 2 月 20 日	①建替校の将来像について（学校視察報告） ②検討結果の確認について

(仮称) 第 10 中学校建替基本プラン (案)

平成 27 年 7 月

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会

目次

はじめに	1
学校づくりの基本理念	2
周辺の状況・配置計画	3
平面計画	4
資料	5
・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会委員名簿	6
・検討経過	7

はじめに

本事業については、平成 26 年度に学識経験者、関係校の保護者、地域の方々、学校長で構成される西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会（以下「ひばりが丘中学校建替協議会」という。）が設置され、2 箇年をかけて建替校の将来像や基本プラン等を検討しているところである。

本プラン（案）は、ひばりが丘中学校建替協議会の中で検討された、建替えの際の基本的な方向性となる学校づくりの基本理念及び配置計画・平面計画等を取りまとめて示したものである。本プラン（案）を基に、ひばりが丘中学校建替協議会での更なる丁寧な意見聴取を行いながら基本設計等の取組を進めていくことを求める。

<建替校の校名について>

従前から便宜的に使用してきた“(仮称) 第 10 中学校”という呼称について、ひばりが丘中学校建替協議会では、「建替校にはこれまでの学校の歴史と伝統を引き継いでほしい」、「地域の名前を生かした校名にするべきである」、「校名が変わるものと誤解してしまうので早く決めてほしい」等という意見が出たことから建替校の校名を“ひばりが丘中学校”とすることを要望する。

<特別支援学級について>

平成 24 年度に設置した西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会において、設置の要望があった特別支援学級について、ひばりが丘中学校建替協議会においても協議をしたところ、同じく設置を要望することとした。

<学校づくりの基本理念>

本計画は、「西東京市 学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づく取組及びひばりが丘団地を中心とした「ひばりが丘地区 地区計画」の一部である。

子ども達の学習・教育環境の向上を図り、地域コミュニティの醸成に寄与する学校、また快適な住環境・一体的な景観形成を推進するこれからのまちづくりに寄与する学校を目指し、下記の学校づくりの基本理念を掲げる。

—テーマ—

緑豊かな快適な環境で、のびのびと学べる学校
地域のシンボルとして、より開かれた学校

—学校づくりの4つの柱—

●多様な学び・文化・スポーツの場となる学校づくり

- ・集中できる快適な学習環境とアクティブラーニング※1を促す柔軟な学習空間
- ・部活動利用を考慮した使いやすい校舎等及びグラウンド計画

●地域とのつながりを育み、共に学ぶ学校づくり

- ・地区施設との連携を考慮した学校活動の見える化
- ・ユニバーサルデザイン※2と適切な地域開放ができる管理区画

●環境を考慮した学校づくり

- ・生徒の生活環境としての快適性と地球環境を考慮した省エネのバランス
- ・学校全体を教材とする自然環境を生かした「見えるエコ施策」

●長く使える災害に強い学校づくり

- ・建物の長寿命化、メンテナンス性、生徒数の変化等に対応する柔軟性・更新性
- ・普段のエコを災害時に生かす、実効性のある災害対策機能の充実

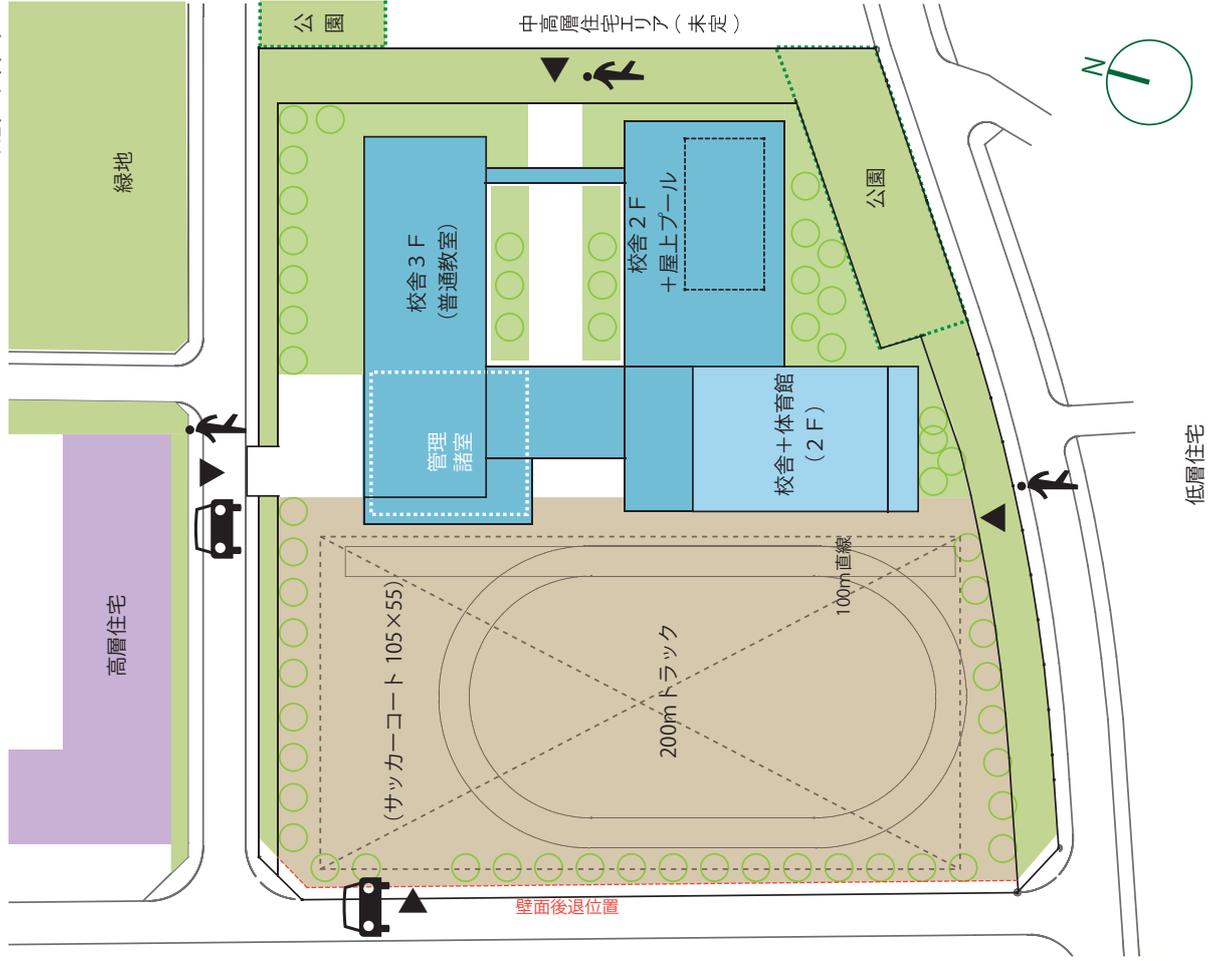
※1 「アクティブラーニング」：課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習

※2 「ユニバーサルデザイン」：すべての年齢や能力の人々に対し、可能な限り最大限に使いやすい製品や環境のデザイン

<周辺の状況>

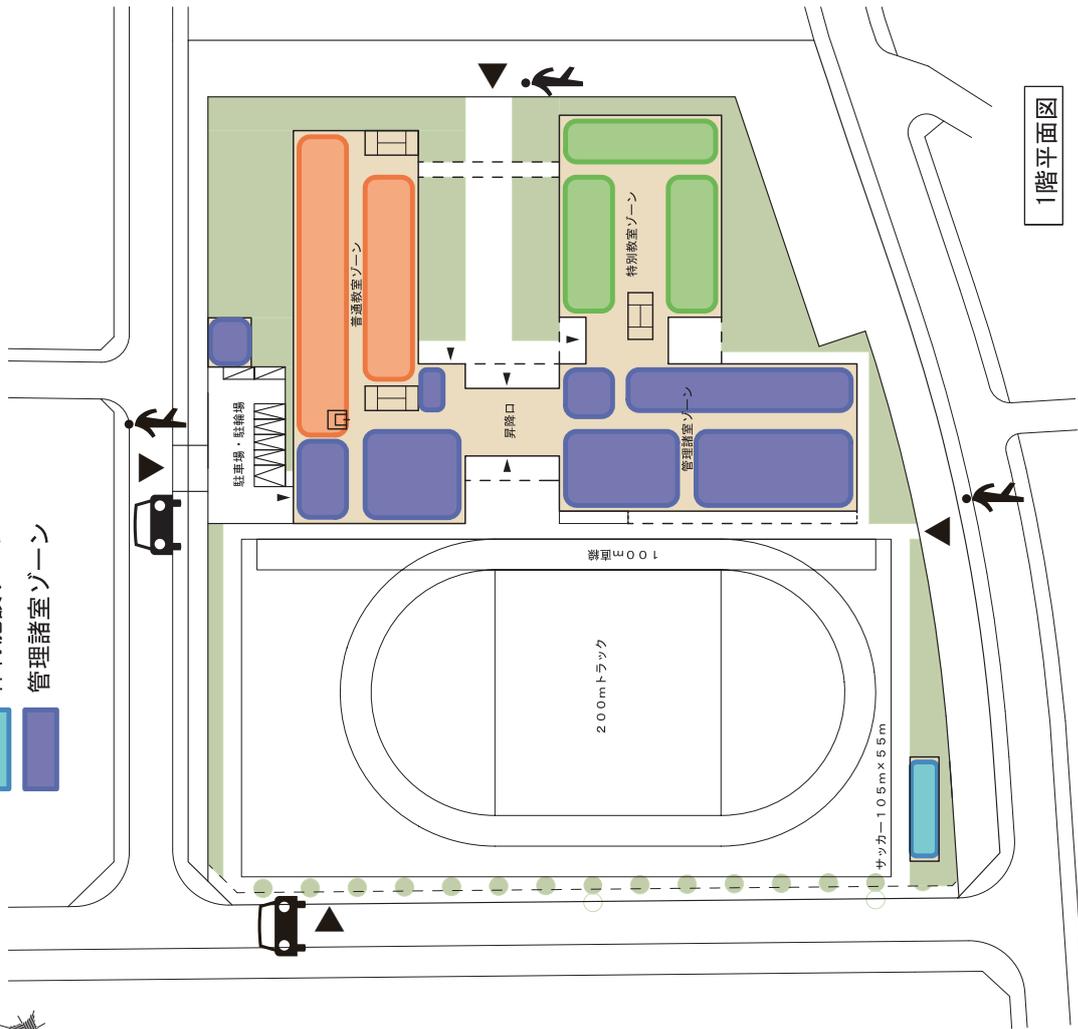


<配置計画>

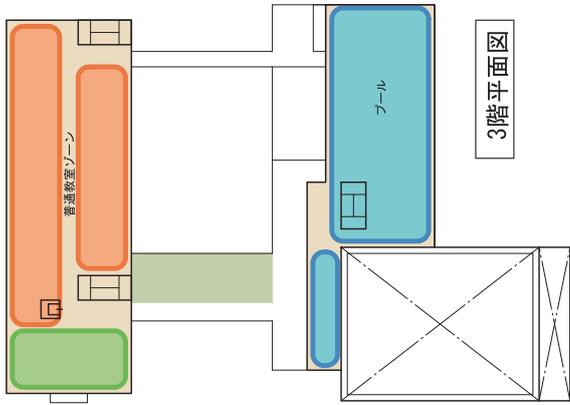


<平面計画>

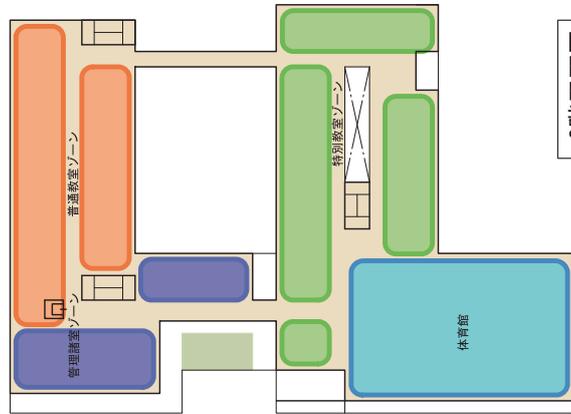
- 普通教室ゾーン
- 特別教室ゾーン
- 体育施設ゾーン
- 管理諸室ゾーン



1階平面図



3階平面図



2階平面図

資 料

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会委員名簿

(敬称略)

選出区分	委員名	備考
学識経験者	上岡 学	
	沼本 禎一	
児童の保護者(中原小学校)	大槻 暁子	平成27年5月28日まで
	長濱 美玲	平成27年5月29日から
	井島 純子	平成27年5月28日まで
	鈴木 愛	平成27年5月29日から
生徒の保護者(田無第二中学校)	首藤 文恵	平成27年5月28日まで
	鱒淵 静枝	平成27年5月29日から
	丸山 紀子	平成27年5月28日まで
	永井 孝子	平成27年5月29日から
生徒の保護者(ひばりが丘中学校)	河野 美晴	
	池田 めぐみ	平成27年5月28日まで
	早川 肇	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(中原小学校)	長濱 美玲	平成27年5月28日まで
	峯岸 妙子	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(田無第二中学校)	葛生 泰子	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(ひばりが丘中学校)	吉村 美穂子	
民生・児童委員(中原小学校)	梅原 后代	
民生・児童委員(田無第二中学校)	肥沼 秀子	
民生・児童委員(ひばりが丘中学校)	江田 菊代	
育成会会員(中原小学校)	佐藤 裕子	
自治会長等 地域住民	住田 佳子	
	井埜 光一	
中原小学校長	久能 正吾 ※	平成27年3月31日まで
	水野 伸一郎 ※※	平成27年4月1日から
田無第二中学校長	東山 信彦	平成27年3月31日まで
	井上 雅子	平成27年4月1日から
ひばりが丘中学校長	野澤 幸美 ※※	平成27年3月31日まで
	勝見 俊也 ※	平成27年4月1日から

※ 会長

※※ 副会長

検討経過

会議	年月日	主な検討内容
第1回	平成26年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員依頼 ・ 検討状況等について ・ 今後の予定
第2回	平成26年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方）
第3回	平成27年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方） ・ 学校施設の概要等について
第4回	平成27年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替校の将来像について（学校視察）
第5回	平成27年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替校の将来像について（学校視察報告） ・ 検討結果の確認について
第6回	平成27年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配置案について
第7回	平成27年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本平面案について
第8回	平成27年7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本プラン（案）について

「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」

調査結果報告書

平成 27 年 12 月

西東京市教育委員会

目 次

1	調査名称	P 1
2	目的	P 1
3	調査対象者	P 1
4	方法	P 1
5	調査項目	P 1
6	調査結果	P 1
7	アンケート回答の主な意見	P 2
8	アンケート調査結果集計表	P 4
9	アンケート用紙	P 16

1 調査名称

ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート

2 目的

ひばりが丘中学校の建替えに際し、(仮称)第10中学校の基本設計を進めているところであるが、現在のひばりが丘中学校の良いところや改善したいところ等について、施設を利用している生徒、保護者、教職員に意向調査を実施することで、基本設計、実施設計等の基礎資料とする。

3 調査対象者

ひばりが丘中学校生徒(1~3年生)、ひばりが丘中学校生徒保護者、ひばりが丘中学校教職員

4 方法

(1) 配布・回収方法

学校より生徒及び保護者、教職員へ配布、回収も学校にて実施した。

なお、保護者には生徒経由での配布とした。

(2) 実施経過

平成27年 9月 9日(水) アンケート配布

平成27年 9月24日(木) アンケート回収期限

平成27年10月 2日(金) 本調査結果の集計対象とした回収受付最終日

5 調査項目

①学年(生徒、保護者のみ調査)

②今の学校の好きなのところ、残してほしいところ

③今の学校で改善してほしいところ

④その他自由意見

6 調査結果

【集計表】

配布数	991 枚					
回答数	561 枚					
回答率	56.6%					
		生徒	保護者	教職員	全体	
		配布枚数	490	470	31	991
		回収枚数	477	53	31	561
		回収率	97.3%	11.3%	100.0%	56.6%
		意見等件数	710	93	116	919

7 アンケート回答の主な意見

I 生徒の主な意見（5件以上のもの）

○今の学校の好きなところ、残してほしいところ

- ・校庭が広い
- ・教室の空調は残してほしい
- ・校庭の水はけが良い
- ・池（鯉）を残してほしい
- ・体育館が広い
- ・テニスコートを残してほしい
- ・図書室の雰囲気がよく落ち着く
- ・図書室が広くて綺麗
- ・体育館が綺麗
- ・卒業生作品を残してほしい
- ・音楽室の雰囲気がよく落ち着く
- ・桜の木を残してほしい

○今の学校で改善してほしいところ

- ・体育館に空調を設置してほしい
- ・更衣室が狭い
- ・特別教室に空調を設置してほしい
- ・室内プールにしてほしい
- ・個別のロッカーが小さい
- ・部室がほしい
- ・トイレにウォシュレットを設置してほしい
- ・給食室を設置してほしい
- ・教室の配置をもっと近くにしてほしい
- ・窓には網戸をつけてほしい
- ・体育館を広くしてほしい
- ・体育館の風通し悪い
- ・エスカレーターを設置してほしい
- ・校庭を広くしてほしい
- ・第二体育室（武道場等）がほしい

Ⅱ 保護者の主な意見（3件以上のもの）

- ・学校名はそのままにほしい
- ・体育館に空調を設置してほしい
- ・特別教室に空調を設置してほしい
- ・給食室を設置してほしい
- ・校庭が広くて良い
- ・桜の木を残してほしい

Ⅲ 教職員の主な意見（3件以上のもの）

- ・校庭が広くて良い
- ・ICT環境を整備してほしい
- ・特別教室（全部屋）に空調を設置してほしい
- ・体育館が広くて良い
- ・池を残してほしい
- ・緑が多いところが良い
- ・第二体育室（武道場等）がほしい
- ・廊下を広くしてほしい

Ⅳ その他の主な自由意見

- ・今のひばりが丘中学校の良さを活かしてほしい
- ・環境にやさしい校舎にほしい
- ・屋上に入出入りできると良い
- ・雨水活用をしてほしい
- ・体育館のギャラリーはあったほうが良い
- ・地震に強い学校にほしい
- ・教職員の目が届きやすい施設にほしい
- ・効率よく移動できる学校配置にほしい
- ・太陽光発電を設置してほしい
- ・トイレは全室洋式化してほしい

8 アンケート調査結果集計表

提出者数		1 中学生生徒		2 生徒保護者		3 教職員		総計	
		477 人		53 人		31 人		561 人	
質問内容		好きなところ 残してほしい ところ	意見・要望	好きなところ 残してほしい ところ	意見・要望	好きなところ 残してほしい ところ	意見・要望	好きなところ 残してほしい ところ	意見・要望
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
1	学校全体	5	78	4	10	3	20	12	108
2	教室	8	23	1	2	0	7	9	32
3	特別教室	11	3	0	3	2	1	13	7
4	その他諸室	2	49	1	1	0	5	3	55
5	図書室	16	6	1	1	0	0	17	7
6	体育館	22	31	3	2	5	6	30	39
7	プール	0	22	0	0	0	4	0	26
8	廊下・階段	4	21	1	4	5	7	10	32
9	トイレ	3	78	0	14	0	4	3	96
10	校庭	74	50	6	4	11	6	91	60
11	屋上	1	3	0	0	0	0	1	3
12	設備、備品	4	39	0	1	2	10	6	50
13	空調	17	51	0	9	0	7	17	67
14	学校給食	0	19	0	4	0	2	0	25
15	環境	21	6	4	2	7	1	32	9
16	その他	21	22	9	6	1	0	31	28
	計	209	501	30	63	36	80	275	644

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（生徒）

整理番号	好きのところ・残してほしいところ	件数
1 学校全体		
1	普通教室と特別教室がはっきり分かれているところ	1
2	各部屋の場所がわかりやすい	1
3	職員室の場所が真中のところが良い	1
4	フロア毎に学年が分かれているところが良い	1
5	横長の校舎	1
2 教室		
6	教室の空調設備	2
7	グラウンドが見える教室が良い	2
8	教室が広い	1
9	教室のタイル張りを残してほしい	1
10	教室が落ち着く	1
11	教室の形が良い	1
3 特別教室		
12	音楽室は落ち着く、雰囲気が良い	5
13	音楽室が広くて綺麗	2
14	音楽室は声が響きやすい	1
15	PC室が広くて綺麗	1
16	美術室は残してほしい	1
17	音楽室は使いやすい	1
4 その他諸室		
18	相談室は残してほしい	1
19	オープンルームは残してほしい（部活で使用できる）	1
5 図書室		
20	広くて綺麗（本がたくさんある）	7
21	落ち着く（雰囲気が良い）	7
22	本が読みやすい	1
23	勉強や調べ物ができる	1
6 体育館		
24	体育館が広い	12
25	体育館が綺麗	7
26	ギャラリーは残したほうが良い	3
7 プール		
8 廊下・階段		
27	長い廊下	3
28	廊下の広さ	1
9 トイレ		
29	体育館のトイレが綺麗で自動式のところ	3
10 校庭		
30	校庭が広い	47
31	水はけが良い	14
32	テニスコートを残してほしい	11
33	南向きの校庭	1
34	校庭とテニスコートが別なところが良い	1
11 屋上		
35	景色が綺麗	1

整理番号	好きなところ・残してほしいところ	件数
12 設備、備品		
36	スプリンクラーを残してほしい	1
37	体育館の電気設備が充実している	1
38	水道が多いところが良い	1
39	教室の扇風機を残してほしい	1
13 空調		
40	空調を残してほしい	17
14 学校給食		
15 環境		
41	池（鯉）を残してほしい	13
42	桜の木を残してほしい	5
43	自然を残してほしい	3
16 その他		
44	卒業制作品を残してほしい	6
45	学校名を残してほしい	4
46	賞状などは残してほしい	2
47	今の校歌が好きなので残してほしい	1
48	校歌板を残してほしい	1
49	伝統を残してほしい	1
50	ひばりが丘中学校の雰囲気を残してほしい	1
51	掲示物が多いところ	1
52	掲示板が見やすい	1
53	部活が多いところ	1
54	制服は今のままで良い	1
55	意見箱はあったほうが良い	1
計		209

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（生徒）

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	も採り入れる	るもの	今後検討する	採り入れられないもの	学校の課題	学校運営等	対 応
1 学校全体										
1	全体的に汚い、ボロボロである	27	●							
2	雨漏りのないようにしてほしい	10	●		●					
3	教室配置をもっと近いようにしてほしい	6		●						
4	窓には網戸をつけてほしい（虫対策）	5			●					
5	地震に強い学校にしてほしい	4			●					
6	タイルの床は割れる、すべる	2			●					
7	今のひばりが丘中学校の良さを活かしてほしい	2			●					
8	汚れが目立たないように黒っぽい色にほしい	1			●					
9	門が汚い	1	●							
10	全体的に明るい色にしてほしい	1			●					
11	外装タイルは色を統一してほしい	1			●					
12	壁の塗装がはげている	1	●							
13	門は全て開けてほしい（常時開放する）	1						●		
14	木造のものがあると良い（下駄箱等）	1			●					内装材や工作物等に取り入れる予定
15	真中の教室はトイレが遠く配置が悪い	1	●							
16	近代的にしてほしい（青嵐中のように）	1			●					
17	今の校舎よりも広くしてほしい	1		●						延べ面積自体は大きくなる
18	特別教室棟と普通教室棟を分けてほしい	1		●						
19	階段の場所を分かりやすくしてほしい	1		●						昇降口、玄関の近くに配置
20	昇降口が狭い（下駄箱周辺）	1			●					
21	床が汚い	1	●							
22	上下階からの音がうるさい	1			●					
23	教室の窓の外が家というのはやめてほしい	1			●					
24	日影を多くしてほしい	1			●					
25	敷地を広くしてほしい	1					●			
26	青嵐中のようなベランダが良い	1			●					
27	全体的に明るい雰囲気にしてほしい	1			●					
28	環境にやさしい校舎にほしい	1			●					
29	開放的で明るく楽しい学校にほしい	1			●					
2 教室										
30	個別のロッカー（棚）が小さい	10			●					
31	扉が開け閉めしづらい（重い）	6	●							
32	教室が狭い	3			●					現状と同等
33	黒板ではなくホワイトボードが良い	1				●				基本的には黒板とする
34	黒板を大きくしてほしい	1			●					
35	床は平にしてほしい	1	●							
36	個別のロッカー（棚）はドア付きにほしい	1						●		
3 特別教室										
37	音楽室を広くしてほしい	1			●					
38	家庭科室に給湯設備がほしい	1			●					
39	理科室、技術室が汚い	1	●							
4 その他諸室										
40	更衣室が狭く、汚い（プール他）	31			●					
41	部室がほしい	8				●				部室は設置しない予定
42	自習室がほしい	3			●			●		
43	プールとその他の更衣室を分けてほしい	1		●						
44	生徒会室がほしい	1			●			●		
45	職員室は端にほしい	1			●					
46	部活で使用できる部屋がほしい	1			●			●		
47	吹奏楽部の楽器を置く部屋がほしい	1			●			●		
48	ラウンジがほしい	1					●			

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	も採り入れるもの	今後検討するもの	採り入れられないもの	学校の課題	校運営等	対 応
49	外倉庫には照明をつけてほしい	1			●				
5 図書室									
50	広くしてほしい	4			●				
51	もっと机とイスがあると良い	1					●		
52	毎日開放してほしい	1					●		
6 体育館									
53	体育館の風通しが悪い	8			●				
54	広くしてほしい	6			●				
55	第二体育室（武道場等）を設置してほしい	5				●			設置しない予定
56	窓が開きづらい（閉めにくい）	4	●						
57	ギャラリーを広くしてほしい	3		●	●				ギャラリーは設置する
58	すべらないようにしてほしい	1	●						
59	バスケットコートが2面ほしい	1				●			
60	天井を高くしてほしい	1			●				
61	部活動をのびのびできるようにしてほしい	1					●		
62	室内練習場がほしい	1				●			設置しない予定
7 プール									
63	室内（屋根、温水）プールにしてほしい	13				●			
64	プールが汚い	8	●						
65	広くしてほしい	1			●				
8 廊下・階段									
66	エスカレーターがほしい	6				●			
67	廊下が長い	4	●	●					
68	廊下を広くしてほしい	3			●				
69	廊下が暗い	2			●				
70	ホールのような広いスペースがほしい	2		●					ホールは設置する予定
71	階段がきつい（段差）	2		●					小学校基準とする予定
72	タイルが汚い	1			●				
73	階段の手すりがいらぬ	1				●			手すりは設置する
9 トイレ									
74	綺麗にしてほしい（汚い、くさい）	51	●						
75	ウォシュレットをつけてほしい	7			●				
76	扉（鍵）が閉まりにくい	7	●						
77	トイレが狭い	4			●				
78	トイレが少ない	4			●				
79	洋式にしてほしい（和式は必要ない）	3			●				和式は各室一箇所設置予定
80	トイレが暗い（寒い）	2		●					
10 校庭									
81	テニスコートを増やしてほしい	13				●			テニスコートの増設は現状不可能
82	テニスコートの水はけが悪い（室内がいい）	11	●						
83	もっと広くしてほしい	10				●			現状より狭くなる
84	雨が降っても使用できるようにしてほしい（水はけ）	5			●				
85	芝生にしてほしい	3				●			
86	照明をつけてほしい	2				●			屋外照明は設置しない予定
87	部活のしやすい形にしてほしい	1			●				
88	遊具を設置してほしい	1			●				
89	坂をなくしてほしい	1	●						
90	土が固い	1	●						
91	排水溝などが危険のないようにしてほしい	1			●				
92	テニスコートにスプリンクラーがほしい	1	●						
11 屋上									
93	屋上に入浴できるとよい	3			●				屋上緑化等の検討
12 設備、備品									
94	水道蛇口が汚い	7	●						

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	も採り入れる	るもの	今後検討する	採り入れられないもの	学校の課題	学校運営等	対 応
95	扇風機のない教室がある	4	●							
96	水道がおいしくない	4			●					直結給水化の検討
97	エレベーターを設置してほしい	4		●				●		給食の配膳用の予定
98	冷水器を設置してほしい	4						●		
99	水道の蛇口が短い（トイレ）	3			●					
100	机にPC（タブレット）がほしい	3						●		
101	コンセントの位置が高い	2			●					
102	水道の蛇口が低い	1			●					
103	全部屋にモニターがあると良い	1			●					
104	電子黒板があると良い	1			●					
105	太陽光発電を設置してほしい	1			●					
106	部屋ごとに放送の音量が調節できるようにしてほしい	1			●					
107	水道（流し）を増やしてほしい	1			●					
108	机は木ではないものにしてほしい	1						●		
109	PCをノートパソコンにしてほしい	1						●		
13 空調										
110	体育館に空調がほしい	32					●			体育館に空調は設置しない予定
111	美術室に空調をつけてほしい	9		●						教室、特別教室等に設置予定
112	全部屋（特別教室）に空調をつけてほしい	7		●						教室、特別教室等に設置予定
113	理科室に空調をつけてほしい	2		●						教室、特別教室等に設置予定
114	空調を教室ごとにつけられるようにしてほしい	1			●					
14 学校給食										
115	給食がおいしくない	10	●							
116	給食室を作ってほしい	7			●					
117	給食のメニューを改善してほしい	1	●							
118	各階の配膳室は校舎の真中にしてほしい	1			●					
15 環境										
119	緑を多くしてほしい	2			●					
120	桜の木を増やしてほしい	1			●					
121	雨水活用をしてほしい	1			●					
122	池は必要ない	1			●					
123	花が沢山ある花壇を作ってほしい	1			●					
16 その他										
124	制服を変えてほしい	8						●		
125	卓球部を作ってほしい	2						●		
126	自転車通学を許可してほしい	2					●			
127	食堂がほしい	2					●			
128	購買部がほしい	2					●			
129	動物を放し飼いにしたい	1			●					飼育小屋は検討
130	生徒用の駐輪場がほしい	1					●			駐輪場は設置する
131	3年生は3階が良い	1						●		
132	ライブハウスがほしい	1					●			
133	文化祭を作ってほしい	1						●		
134	水泳部を作ってほしい	1						●		
	計	501								

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（保護者）

整理番号	好きなところ・残してほしいところ	件数
1 学校全体		
1	昔ながらの趣のある校舎	1
2	来客用玄関の雰囲気が良い	1
3	各階で学年がまとまっているところが良い	1
4	教室から校庭が見えるところが良い	1
2 教室		
5	明るくて開放感のある教室	1
3 特別教室		
4 その他諸室		
6	公開授業のときのティールーム（情報交換ができる場所）	1
5 図書室		
7	図書室が広くて勉強もできるから良い	1
6 体育館		
8	体育館が広い	1
9	ギャラリーは残してほしい	1
10	体育館の壁に設置されている目標や校歌板	1
7 プール		
8 廊下・階段		
11	広い廊下	1
9 トイレ		
10 校庭		
12	校庭が広い	4
13	水はけが良い	2
11 屋上		
12 設備、備品		
13 空調		
14 学校給食		
15 環境		
14	桜の木を残してほしい	3
15	池の鯉を大切にしてほしい	1
16 その他		
16	学校名はそのままにほしい	6
17	歴代卒業生たちの卒業制作作品を残してほしい	2
18	校歌を残してほしい	1
計		30

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（保護者）

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	も採り入れる	今後検討する	採り入れられない	学校運営等の課題	対応
1 学校全体								
1	地震に強い校舎にしてほしい	1			●			
2	校舎出入口を広くしてほしい	1			●			
3	段差をなくしてほしい	1			●			
4	外装が無機質である	1			●			
5	雨漏りのないようにしてほしい	1			●			
6	明るく開放感のある空間にしてほしい	1			●			
7	緑豊かでベンチのある学校にしてほしい	1			●			
8	近代的でおしゃれで目立つ学校が良い（青嵐のように）	1			●			
9	雨の日に外の部活が活動できる場所がほしい	1			●			
10	教職員が目行きやすい施設にしてほしい	1			●			
2 教室								
11	廊下側はガラス張りにしてほしい	1			●			
12	個別ロッカーが小さい	1			●			
3 特別教室								
13	家庭科室を綺麗にしてほしい	1	●					
14	音楽室は円形で舞台のあるホール形式が良い	1			●			
15	特別教室の入口が入りにくい	1			●			
4 その他諸室								
16	更衣室が狭い	1			●			
5 図書室								
17	図書室を開放してほしい	1					●	
6 体育館								
18	ギャラリーを広くしてほしい	1			●			ギャラリーは設置する
19	風通しをよくしてほしい	1			●			
7 プール								
8 廊下・階段								
20	廊下が暗いので明るくしてほしい	2			●			
21	階段が急である	1		●				小学校基準とする予定
22	手すりを設置してほしい	1		●				手すりは設置する
9 トイレ								
23	トイレを綺麗にしてほしい	6	●					
24	トイレが古い	3	●					
25	トイレが暗い	3			●			
26	鍵が掛けづらい	1	●					
27	全室洋式化してほしい	1			●			和式は各室一箇所設置予定
10 校庭								
28	テニスコートを増やしてほしい（男女があり練習時間が少ない）	2				●		テニスコートの増設は現状不可能
29	縦長の校庭は運動会で見づらい	1			●			
30	校庭を広くしてほしい	1				●		現状より狭くなる
11 屋上								
12 設備、備品								
31	エヒーターを設置してほしい	1		●			●	給食の配膳用の予定
13 空調								
32	体育館に空調がほしい	4				●		体育館に空調は設置しない予定
33	各教室（特別教室）に空調がほしい	3		●				教室、特別教室等に設置予定
34	美術室に空調がほしい	1		●				
35	各部屋で空調の調節を可能にしてほしい	1			●			
14 学校給食								
36	給食室を設置してほしい	3			●			
37	親子給食ならば保冷库・保温庫があると良い	1			●			

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	採り入れる	今後検討する	採り入れられないもの	学校の課題等	対応
15 環境								
38	樹木を残してほしい	1			●			
39	周辺道路が暗くならないようにしてほしい	1			●			
16 その他								
40	制服を変えてほしい	2					●	
41	校舎の場所を変えないでほしい	1				●		
42	部活動が充実するようにしてほしい	1			●			
43	予算が膨らまないよう現実的なプランにほしい	1			●			
44	建替え、移転のスケジュールを公開してほしい	1			●			
	計	63						

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（教職員）

整理番号	好きのところ・残してほしいところ	件数
1 学校全体		
1	横一列の教室配置が良い	1
2	広くて開放感のある校舎	1
3	風通しが良い	1
2 教室		
3 特別教室		
4	音楽室が二つあるところが良い	1
5	音楽室にステージがあるところが良い	1
4 その他諸室		
5 図書室		
6 体育館		
6	体育館が広い	4
7	体育館が綺麗で使いやすい	1
7 プール		
8 廊下・階段		
8	長い廊下（死角が少ない）	2
9	廊下の長イス（生徒が集まる様子がよい）	1
10	広すぎない廊下が良い	2
9 トイレ		
10 校庭		
11	校庭が広い	8
12	水はけが良い	2
13	テニスコート	1
11 屋上		
12 設備、備品		
14	音楽室のプロジェクターとスクリーンが教育効果が高い	1
15	視聴覚室のスクリーンが良い	1
13 空調		
14 学校給食		
15 環境		
16	池を残してほしい	3
17	緑が多いところが良い	3
18	花壇を残してほしい	1
16 その他		
19	クラスボードを残してほしい	1
計		36

ひばりが丘中学校建替えに係る意向調査表（教職員）

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	題	現校舎の課	も採り入れる	るもの	今後検討する	れないもの	採り入れられないもの	の課題	学校運営等	対 応
1 学校全体												
1	雨漏りのない構造にしてほしい	4		●			●					
2	音楽室の配置（4階の端）が悪い	2					●					
3	死角をなくしてほしい	2					●					
4	単純な構造にしてほしい	1					●					
5	清掃のしやすい床にほしい	1					●					
6	耐震性のある校舎にほしい	1					●					
7	全体的に部屋数を増加してほしい（補習や指導ができるように）	1			●							
8	上下階からの雑音・騒音が聞こえないようにしてほしい	1					●					
9	生徒の昇降口を一箇所にしてほしい（生活指導上）	1					●					生徒昇降口は1箇所の予定
10	相談室は1階がよい（他の生徒との接触を避けたい場合がある）	1			●							1階にも設置予定
11	1階の窓に網戸を設置してほしい	1					●					
12	生徒が触れ合えるが溜まらない空間がよい	1					●					
13	フロアの教室が横に広がりすぎている	1			●							
14	バリアフリーの配慮してほしい	1					●					
15	効率よく移動できる教室配置にほしい	1					●					
2 教室												
16	黒板を上下可動式にほしい	2					●					
17	照明を明るくしてほしい（暗い）	2					●					
18	ロッカーが小さい	2					●					
19	教室の空気の流れが悪い	1					●					
3 特別教室												
20	家庭科室、調理室の調理台に給湯設備がほしい	1					●					
4 その他諸室												
21	職員室は広くしてほしい（狭い）	2					●					
22	清掃用具倉庫を設置してほしい	1					●			●		
23	多目的教室を多くしてほしい	1					●					
24	広い多目的教室がほしい（学年集会が可能な）	1					●					
5 図書室												
6 体育館												
25	第二体育室（武道場等）を設置してほしい	3						●				
26	体育館を広くしてほしい	1					●					
27	正規のバスケットコートが2面ほしい	1						●				
28	割れにくい窓が良い	1					●					
7 プール												
29	プールは屋上にしてほしい	2			●							
30	プールに屋根がほしい（室内）	2						●				
8 廊下・階段												
31	廊下を広くしてほしい	3					●					
32	掲示物を貼りやすくしてほしい	1					●					
33	広い空間があると良い	1			●							
34	階段に手すりがあると良い	1			●							
9 トイレ												
35	綺麗なトイレにほしい	2	●									
36	入口の扉をなくしてほしい（衛生面）	1					●					
37	自動水栓にほしい（衛生面）	1					●					
10 校庭												
38	テニスコートの水はげが悪い	2	●									
39	照明設備があると良い	2					●					
40	校庭は広くしてほしい	1					●					
41	テニスコートの改善（土ではないコート）	1	●									

整理番号	意見・要望（改善してほしいところ）	要望件数	現校舎の課題	も採り入れる	るもの	今後検討する	れないもの	採り入れられないもの	学校の課題	学校運営等	対応
11 屋上											
12 設備、備品											
42	ICT環境を整備してほしい（電子黒板、PC、プロジェクター、ホワイトボード等）	5			●						
43	コンセントを多くしてほしい	2			●						
44	各教室ごとに放送の音量が調節できるようにしてほしい	1			●						
45	エレベーターを設置してほしい	1		●							
46	遮光カーテンにしてほしい	1			●						
13 空調											
47	特別教室に空調がほしい	4		●							教室、特別教室等に設置予定
48	体育館に空調を設置してほしい	2					●				体育館に空調は設置しない予定
49	全部屋に空調を設置してほしい	2			●						教室、特別教室等に設置予定
14 学校給食											
50	給食室を設置してほしい	2			●						
15 環境											
51	池は必要ない（生徒のいたずらや事故に繋がる）	1			●						
16 その他											
	計	80									

ひばりが丘中学校
生徒の皆様へ

「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」

今、西東京市ではひばりが丘中学校の建て替えに伴い設計を進めています。
つきましては、現在通学している生徒の皆様への学校に対する想いや意見、要望を聞かせていただき、今後の設計の参考にしたいと考えています。
生徒が安心して快適に学べる学校環境を整備していくために本アンケートにご協力ください。

- 【1】 あなたのことについて教えてください。あてはまる箇所に○をつけて下さい。

学年 (1年生 ・ 2年生 ・ 3年生)

- 【2】 今の学校の好きなおところ、残してほしいところがありますか？

好きなおところ、残してほしいところ
.....
その理由
.....

- 【3】 今の学校で改善してほしいところがありますか？

改善してほしいところ
.....
その理由
.....

- 【4】 その他自由意見

自由意見
.....

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。
※本アンケートはひばりが丘中学校建替の参考にさせていただく以外には、一切使用しません。

ひばりが丘中学校
保護者の皆様へ

「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」

日頃から西東京市の教育行政にご理解・ご協力頂きありがとうございます。□
さて、すでにご承知のことと存じますが、ひばりが丘中学校の建替えに関しましては、昨年度からひばりが丘中学校建替協議会を発足させ、現在、基本設計について協議しているところであります。
つきましては、皆様の学校に対するご意見、ご要望をお聞きし、設計を進める際の参考にさせて頂きたいと考えております。
ご多忙の折、恐縮ではございますが本アンケートへのご協力をお願い致します。

- 【1】 お子様のことについて教えてください。あてはまる箇所に○をつけて下さい。

学年（ 1年生 ・ 2年生 ・ 3年生 ）

- 【2】 今の学校の好きなところ、残してほしいところがありますか？

好きなところ、残してほしいところ
その理由

- 【3】 今の学校で改善してほしいところがありますか？

改善してほしいところ
その理由

- 【4】 その他自由意見

自由意見

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。
※本アンケートはひばりが丘中学校建替の参考にさせていただく以外には、一切使用しません。

ひばりが丘中学校
教職員の皆様へ

「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」

日頃から西東京市の教育行政にご理解・ご協力頂きありがとうございます。□
さて、すでにご承知のことと存じますが、ひばりが丘中学校の建替えに関しましては、昨年度からひばりが丘中学校建替協議会を発足させ、現在、基本設計について協議しているところであります。

つきましては、皆様の学校に対するご意見、ご要望をお聞きし、設計を進める際の参考にさせて頂きたいと考えております。

ご多忙の折、恐縮ではございますが本アンケートへのご協力をお願い致します。

- 【1】 今の学校の好きなところ、残してほしいところがありますか？

好きなところ、残してほしいところ
その理由

- 【2】 今の学校で改善してほしいところがありますか？

改善してほしいところ
その理由

- 【3】 その他自由意見

自由意見

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。
※本アンケートはひばりが丘中学校建替の参考にさせていただく以外には、一切使用しません。

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会設置要綱

第1 趣旨

この要綱は、西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（以下「準備検討協議会」という。）において協議した事項等を基に、西東京市立ひばりが丘中学校（以下「ひばりが丘中学校」という。）の建替えについて学校関係者から意見聴取を行い、ひばりが丘中学校の建替えの基本計画等の検討をするために設置する、西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会（以下「ひばりが丘中学校建替協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2 所掌事項

ひばりが丘中学校建替協議会は、次の事項について検討し、その結果を西東京市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

- (1) ひばりが丘中学校の建替えの基本計画に関すること。
- (2) 準備検討協議会において協議した事項に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育長が必要と認めること。

第3 構成

ひばりが丘中学校建替協議会の委員は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学識経験者 2人以内
- (2) 西東京市立中原小学校（以下「中原小学校」という。）、西東京市立田無第二中学校（以下「田無第二中学校」という。）及びひばりが丘中学校に通学する児童又は生徒の保護者 6人以内
- (3) 中原小学校、田無第二中学校及びひばりが丘中学校に設置する学校運営連絡協議会委員 3人
- (4) 中原小学校、田無第二中学校及びひばりが丘中学校の通学区域を担当地区とする民生・児童委員 3人以内
- (5) 中原小学校の通学区域の青少年育成会の会員 1人
- (6) 自治会長等の地域住民 2人以内
- (7) 中原小学校、田無第二中学校及びひばりが丘中学校の校長

- 2 前項各号に規定する委員の任期は、第2に規定する所掌事項についての協議の結果を教育長に報告する日までとする。

第4 会長及び副会長

ひばりが丘中学校建替協議会に会長及び副会長を置き、会長は教育長が指名する者をもって充て、副会長は会長が指名する。

- 2 会長は、ひばりが丘中学校建替協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

第5 会議

ひばりが丘中学校建替協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 ひばりが丘中学校建替協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

- 3 会長は、ひばりが丘中学校建替協議会で必要があると認めるときは、委員以外の者の会議への出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第6 会議の傍聴

ひばりが丘中学校建替協議会の会議は、原則として傍聴することができる。

- 2 ひばりが丘中学校建替協議会の会議の傍聴者は、10人以内とする。ただし、会長が認めるときは、これを変更することができる。
- 3 前2項に規定するもののほか、ひばりが丘中学校建替協議会の会議の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7 報償

第3第1項第1号から第6号までに規定する委員がひばりが丘中学校建替協議会の会議に出席したときは、予算の範囲内で謝金を支払う。

第8 庶務

ひばりが丘中学校建替協議会の庶務は、教育部教育企画課において処理する。

第9 その他

この要綱に定めるもののほか、ひばりが丘中学校建替協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成26年5月1日から施行する。
(西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱の廃止)
- 2 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱(平成24年3月14日付23西教教第1291号教育長決裁)は、廃止する。

資料5

西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会委員名簿

(敬称略)

選出区分	委員名	備考
学識経験者	上岡 学	
	沼本 禎一	
児童の保護者(中原小学校)	大槻 暁子	平成27年5月28日まで
	長濱 美玲	平成27年5月29日から
	井島 純子	平成27年5月28日まで
	鈴木 愛	平成27年5月29日から
生徒の保護者(田無第二中学校)	首藤 文恵	平成27年5月28日まで
	鱒淵 静枝	平成27年5月29日から
	丸山 紀子	平成27年5月28日まで
	永井 孝子	平成27年5月29日から
生徒の保護者(ひばりが丘中学校)	河野 美晴	
	池田 めぐみ	平成27年5月28日まで
	早川 肇	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(中原小学校)	長濱 美玲	平成27年5月28日まで
	峯岸 妙子	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(田無第二中学校)	葛生 泰子	平成27年5月29日から
学校運営連絡協議会(ひばりが丘中学校)	吉村 美穂子	
民生・児童委員(中原小学校)	梅原 后代	
民生・児童委員(田無第二中学校)	肥沼 秀子	
民生・児童委員(ひばりが丘中学校)	江田 菊代	
育成会会員(中原小学校)	佐藤 裕子	
自治会長等 地域住民	住田 佳子	
	井埜 光一	
中原小学校長	久能 正吾 ※	平成27年3月31日まで
	水野 伸一郎 ※※	平成27年4月1日から
田無第二中学校長	東山 信彦	平成27年3月31日まで
	井上 雅子	平成27年4月1日から
ひばりが丘中学校長	野澤 幸美 ※※	平成27年3月31日まで
	勝見 俊也 ※	平成27年4月1日から

※ 会長

※※ 副会長

検討経過

会議	年月日	主な検討内容
第1回	平成26年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員依頼 ・検討状況等について ・今後の予定
第2回	平成26年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方）
第3回	平成27年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的考え方） ・学校施設の概要等について
第4回	平成27年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・建替校の将来像について（学校視察）
第5回	平成27年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・建替校の将来像について（学校視察報告） ・検討結果の確認について
第6回	平成27年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・配置案について
第7回	平成27年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本平面案について
第8回	平成27年7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・基本プラン（案）について
第9回	平成27年10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひばりが丘中学校建替えに関するアンケート」調査結果について ・（仮称）第10中学校基本設計（案）について
第10回	平成27年11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）第10中学校基本設計（案）について
第11回	平成28年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会検討結果報告書（案）について
報告	平成28年2月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会検討結果報告書を教育長に提出